

三重大学
学生総合支援
センター

2013年度 報告書

三重大学学生支援方針

三重大学にとって、受け入れた学生は「宝」です。
その宝が輝くように、教員、職員、学生が一体となって支援します。



三重大学学生支援の4つのD

1. **Discovery**: 学生の中に眠っている宝を探します。
2. **Dream**: 眠っている宝が最高に輝いた夢を描きます。
3. **Design**: 描かれた夢を実現させるステップをデザインします。
4. **Destiny**: 夢実現のステップを実践し、宝を輝かせます。

2011年2月11日

三重大学長

内田淳二

目次

I 学生総合支援センター

・組織図	01
・学生総合支援センター会議 委員名簿	02
・学生委員会 委員名簿	02

II 学生生活支援室

・活動報告	03
・奨学生数	04
・外国人留学生数	05
・入学科・授業料免除者数	07
・学生寄宿舍入寮許可状況	08
・学生教育研究災害障害保険・学生教育研究賠償責任保険加入者数	10
・クラブ・サークル一覧(体育系・文化系)	11
・第62回東海地区国立大学体育大会成績結果	13

III 障がい学生支援室

・活動報告	14
-------	----

IV 学生なんでも相談室

・活動報告	18
・学生なんでも相談室ニュースVol.2	21

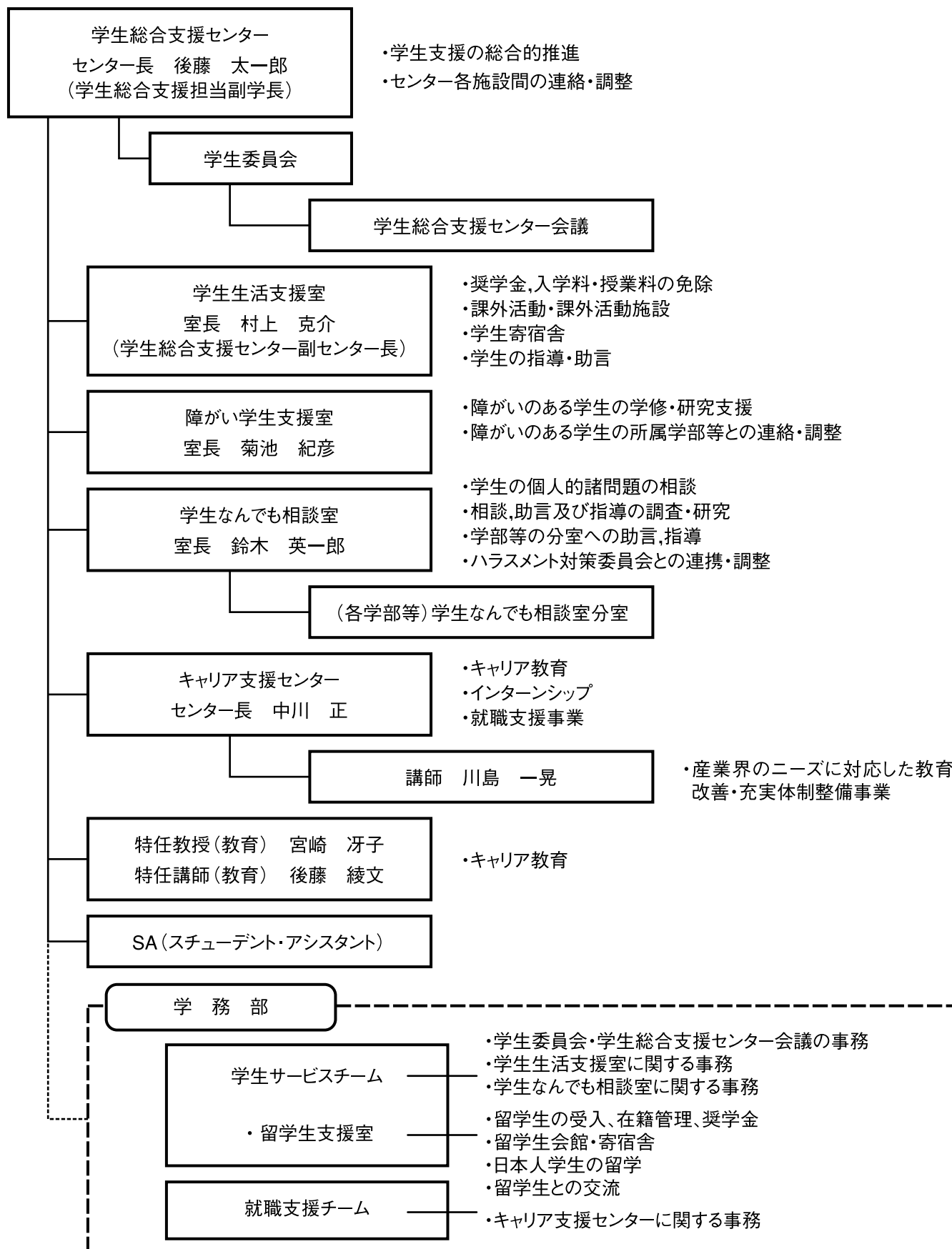
V キャリア支援センター

・活動報告	23
・就職状況	29

VI SA(スチューデント・アシスタント)

・取り組みを振り返って	31
・キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド	38

平成25年度 学生総合支援センター 組織図



平成25年度 学生総合支援センター会議 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	後藤 太一郎	議長 学生総合支援担当 副学長
	学生生活支援室長	村上 克介	副センター長
	障がい学生支援室長	菊池 紀彦	
	学生なんでも相談室長	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター長	中川 正	
	学務部長	中村 賢一	
	講師	川島 一晃	
陪席	学生サービス課長	野々村 晴子	
	学生サービスチーム副課長	伊藤 謙一郎	
	留学生支援室長	長岡 隆	
	就職支援課長	草川 雅彦	
	就職支援チーム副課長	河村 俊男	

平成25年度 学生委員会 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	後藤 太一郎	委員長 学生総合支援担当副学長
	人文学部	藤本 真理	
	教育学部	秋元 ひろと	
	医学部	成田 有吾	
	工学研究科	弓場井 一裕	
	生物資源学研究科	古丸 明	
	保健管理センター	住田 安弘 竹井 謙之	H25.4.1～H25.12.31 H26.1.1～
	国際交流センター	松岡 知津子	
	学生生活支援室	村上 克介	副委員長
	障がい学生支援室	菊池 紀彦	
	学生なんでも相談室	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター	中川 正	
	学務部長	中村 賢一	
陪席	学生サービス課長	野々村 晴子	
	学生サービスチーム副課長	伊藤 謙一郎	
	留学生支援室長	長岡 隆	
	就職支援課長	草川 雅彦	
	就職支援チーム副課長	河村 俊男	

Ⅱ 学生生活支援室

平成25年度 活動報告

学生生活支援室長 村上 克介

1. 学生支援関係

新入生を対象としたオリエンテーション(学生支援説明会)を開催し、キャリアガイダンスによる学生生活支援を、また、地震・津波等大規模災害時の対応方法、津警察生活安全課による交通マナーの遵守、未成年の飲酒防止、および違法薬物の乱用防止など学生生活を送るうえでの様々な危険を回避するための対応方法についてなど、様々な講話を行った。

2. 学生を支援・担当する教職員を対象とした研修会

日本学生支援機構が主催する、学生が抱える様々な悩みや相談に対応する教職員を対象とした学生支援研修会に、学生と直接関わる事務職員などを派遣することを計画し、今年度は、「学生相談・メンタルヘルス研修会」および「就職・キャリア支援研修会」に参加した。

3. クラブ・サークル活動関係

毎年繰り返される、三重大生のマナーを無視した行動、具体的には、近隣の商業施設への無断駐車や、歩行者・自転車の交通マナーの悪さなど、こうした問題についてこれまで同様注意喚起および直接の対面指導という形で指導を実施していたが、今年度は学生ボランティアやクラブ・サークル団体により、学外では国道23号線江戸橋交差点付近での通学学生への交通指導、また、学内では特に乱雑な駐輪により混雑した状況にあった共通教育校舎周辺区域での駐輪指導を集中的に行うなど、学生・教職員の協働によるマナー向上の取組により一定の効果を上げることができた。

4. 課外活動施設の改善及び備品等購入助成

* 熱中症対策	ミスト付き日除け設置(陸上競技場、サッカー場、テニスコート、野球場)、ソーラデジタル温度計設置(4カ所)
* トイレ全面改修	陸上競技場内・合宿所前(ミスト付き)
* 防犯灯取設	自動車部横、第2体育練習場横コンテナ用
* 第1体育館	シューズボックス設置、製氷機設置、つり輪取替
* 第2体育館	雨樋・排煙装置修繕、屋内トレーニング場照明取替(LED)
* 第1・第2体育館共通	コインロッカー設置、ウォータークーラー取替
* 第1体育練習場	第1体育練習場新築
* 第2体育練習場	屋根等修繕
* 合宿所	照明器具取替修理
* 陸上競技場	散水修繕、器具庫照明器具取替
* テニスコート場	整地、ネット巻取器取替
* 野球場	入口門扉修繕、防球ネット補修
* 馬場	厩舎倉庫電気設備改修、側溝整備、馬場障害等整備
* アーチェリー場	物置設置
* 吹奏楽団	譜面収納用倉庫設置、楽器購入
* ヨット部	ヘリオス船底塗装・部品取替、カッター修繕
* 消耗品購入	硬式野球部、アメフト部、ラグビー部、バスケットボール部、応援団、ジャグリングサークル他

平成25年度 奨学生数

平成26年3月1日現在

区分 学部等		在学生数	日本学生支援機構			地方公共団体 民間育英団体	合計	在学生に 対する 百分率	
			第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計				
学部	人文学部	1,255	174	253	427	9	436	34.7%	
	教育学部	884	117	171	288	4	292	33.0%	
	医学部	1,093	148	182	330	423	753	68.9%	
	工学部	1,836	231	313	544	5	549	29.9%	
	生物資源学部	1,103	163	176	339	12	351	31.8%	
大学院	人文社会科学研究科		37	6	0	6	0	6	16.2%
	教育学研究科		106	20	5	25	0	25	23.6%
	医学系研究科	修士	58	9	4	13	0	13	22.4%
		博士	186	9	1	10	0	10	5.4%
	工学研究科	前期	493	167	51	218	3	221	44.8%
		後期	61	9	0	9	0	9	14.8%
	生物資源学研究科	前期	195	54	9	63	0	63	32.3%
		後期	48	10	0	10	0	10	20.8%
	地域イノベーション学研究科	前期	22	11	2	13	0	13	59.1%
		後期	19	3	0	3	0	3	15.8%
	計		7,396	1,131	1,167	2,298	456	2,754	37.2%
特別支援教育特別専攻科		4	0	0	0	0	0	0.0%	

平成25年度 学部別外国人留学生数 一覧表

5月1日現在

		人文学部	教育学部	医学部	工学部	生物資源学部	地域イノベーション学研究科	国際交流センター	計
学部	正規	11 (7)	17 (16)		30 (2)	2 (1)			60 (26)
	非正規	36 (28)	23 (21)		9 (5)	7 (5)		15 (14)	90 (73)
計		47 (35)	40 (37)	0 (0)	39 (7)	9 (6)	0 (0)	15 (14)	150 (99)

修士	正規	10 (6)	24 (21)		10 (4)	29 (13)			73 (44)
	非正規	5 (2)	1 (1)		1 (1)	3 (2)			10 (6)
計		15 (8)	25 (22)	0 (0)	11 (5)	32 (15)	0 (0)	0 (0)	83 (50)

博士	正規			13 (4)	12 (2)	17 (6)	2 (1)		44 (13)
	非正規					1 (1)			1 (1)
計		0 (0)	0 (0)	13 (4)	12 (2)	18 (7)	2 (1)	0 (0)	45 (14)

合計		62 (43)	65 (59)	13 (4)	62 (14)	59 (28)	2 (1)	15 (14)	278 (163)
----	--	---------	---------	--------	---------	---------	-------	---------	-----------

()内は、女子を内数で示す。

平成25年度 国籍別外国人留学生数 一覧表

19ヶ国・地域

278 (163)

5月1日現在

国・地域			【学 部】		【大 学 院】		【国際交流センター】			計
			正規生	非正規生	正規生	非正規生	日本語・ 日本文化 研修生	日本語 研修生	特別聴 講生	
アジア	1	中国	39 (20)	34 (27)	74 (41)	8 (6)	5 (5)		1 (1)	161 (100)
	2	ベトナム	10 (2)	4 (3)	3 (2)				3 (3)	20 (10)
	3	バングラデシュ			3 (0)	1 (0)				4 (0)
	4	韓国	5 (2)	8 (8)	4 (1)					17 (11)
	5	タイ		5 (5)	6 (1)	1 (1)	1 (1)		3 (3)	16 (11)
	6	マレーシア	5 (1)	3 (3)	1 (1)					9 (5)
	7	アフガニスタン			4 (0)					4 (0)
	8	インドネシア	1 (1)	2 (1)	16 (9)					19 (11)
	9	インド			2 (1)					2 (1)
	10	シンガポール		1 (0)						1 (0)
中東	11	イラク			1 (0)					1 (0)
アフリカ	12	マリ共和国			1 (1)					1 (1)
北米	13	メキシコ						1 (1)		1 (1)
中米	14	ブラジル		1 (1)						1 (1)
ヨーロッパ	15	ドイツ		13 (10)			1 (0)			14 (10)
	16	スウェーデン		2 (0)						2 (0)
	17	フランス			1 (0)					1 (0)
	18	セルビア			1 (0)					1 (0)
	19	ロシア		2 (1)		1 (0)				3 (1)
合 計			60 (26)	75 (59)	117 (57)	11 (7)	7 (6)	1 (1)	7 (7)	278 (163)
			135 (85)		128 (64)		15 (14)			

() 内は、女子を内数で示す。

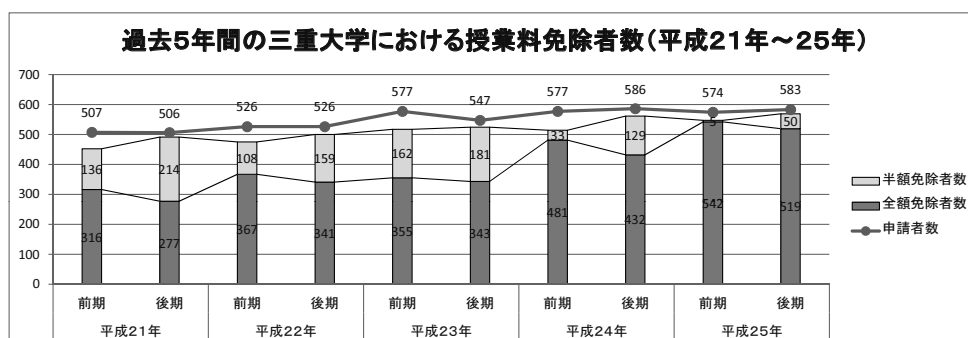
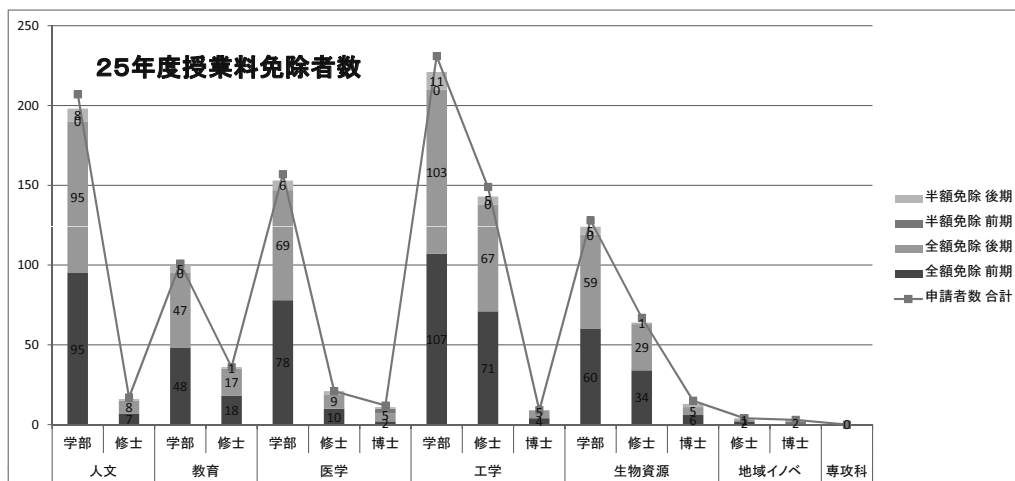
正規生 177 (83)

非正規生 101 (80)

平成25年度 入学科・授業料免除者数(学部・研究科別)

入学科免除				
学部・研究科名		免除申請者数	全額免除	半額免除
人文	学部	17	0	8
	修士	5	0	0
教育	学部	7	0	4
	修士	10	0	3
医学	学部	6	0	1
	修士	3	0	0
	博士	1	0	0
工学	学部	18	0	10
	博士前期	39	0	19
	博士後期	0	0	0
生物資源	学部	11	0	4
	博士前期	10	0	3
	博士後期	1	0	1
地域イノベ	博士前期	0	0	0
	博士後期	1	0	0
専攻科		0	0	0
合 計		129	0	53

授業料免除		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
学部・研究科名		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	101	106	207	95	95	0	8	95	103
	修士	8	9	17	7	8	0	1	7	9
教育	学部	48	53	101	48	47	0	5	48	52
	修士	18	18	36	18	17	0	1	18	18
医学	学部	80	77	157	78	69	0	6	78	75
	修士	10	11	21	10	9	0	2	10	11
	博士	6	6	12	2	5	3	1	5	6
工学	学部	115	116	231	107	103	0	11	107	114
	博士前期	75	74	149	71	67	0	5	71	72
	博士後期	4	5	9	4	5	0	0	4	5
生物資源	学部	61	67	128	60	59	0	5	60	64
	博士前期	36	31	67	34	29	0	1	34	30
	博士後期	8	7	15	6	5	0	2	6	7
地域イノベ	博士前期	2	2	4	2	1	0	1	2	2
	博士後期	2	1	3	0	0	2	1	2	1
専攻科		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		574	583	1,157	542	519	5	50	547	569



平成25年度 学生寄宿舍 入寮許可状況報告

男子学生寄宿舍



定員：109名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成25年度	48	47	44	辞退3名

女子学生寄宿舍



定員：60名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成25年度	32	54	32	

国際女子学生寄宿舍



定員：日本人学生50名 留学生25名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成25年度	日本人学生	26	26	26	雨漏りにより 1室使用不可
	留学生	20	20	20	

留学生会館



定員：35室		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成25年度	単身室(30人)	8	22	8	
	夫婦室(5室)	3	5	3	

留学生寄宿舍



A棟 定員：49名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成25年度	単身室(17人)	10	12	10	
	4人部屋(32人)	20	17	17	天津師範大D.D

B棟 定員：35名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成25年度	単身室	24	25	24	

平成25年度 学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険 加入者数

学 部	入学者数	加入者数	加入率
人文学部	322	218	68%
教育学部	215	198	92%
医学部	215	200	93%
工学部	449	327	73%
生物資源学部	270	270	100%
小 計	1,471	1,213	82%

大学院	入学者数	加入者数	加入率
人文社会科学研究科	15	7	47%
教育学研究科	40	26	65%
医学系研究科			
（博士課程）	45	15	33%
（修士課程）	24	12	50%
工学研究科			
（博士後期課程）	12	6	50%
（博士前期課程）	231	126	55%
生物資源学研究科			
（博士後期課程）	9	9	100%
（博士前期課程）	99	95	96%
地域イノベーション学研究科			
（博士後期課程）	6	1	17%
（博士前期課程）	12	12	100%
特別支援教育特別専攻科	4	3	75%
小計	497	312	63%

合計	1,968	1,525	77%
----	-------	-------	-----

平成25年度 クラブ・サークル一覧

●体育系・全学

平成25年8月1日現在

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	陸上競技部	40	16	56	31	応援団	35	32	67
2	水泳部	19	12	31	32	BEANS(テニス)	31	20	51
3	硬式野球部	26	4	30	33	BLUE MARINE(スキndaイビング)	35	12	47
4	準硬式野球部	18	3	21	34	バスケットボール同好会	11	9	20
5	サッカー部	25	3	28	35	パルデラマ(フットサル)	19	7	26
6	ラグビー部	23	5	28	36	ダイビングサークル	30	11	41
7	アメリカンフットボール部	42	13	55	37	天狗う(よさこいサークル)	19	11	30
8	馬術部	12	13	25	38	ボウリング部	9	0	9
9	硬式テニス部	25	6	31	39	まいのり(テニス・バドミントン)	27	19	46
10	ソフトテニス部	17	9	26	40	ラインブレイク(釣り・アウトドア)	19	15	34
11	ハンドボール部	19	11	30	41	狩るマッチョ(サッカー)	30	10	40
12	バレーボール部	12	9	21	42	極津(よさこい)	0	58	58
13	バスケットボール部	16	10	26	43	ひらめ(バドミントンサークル)	18	7	25
14	バドミントン部	20	5	25	44	WILL(テニス)	22	6	28
15	卓球部	33	11	44	45	MARINO(球技サークル)	7	3	10
16	体操競技部	14	1	15	46	合気研究会	4	6	10
17	ダンス部	10	17	27	47	ブルーロゼット(テニス)	20	1	21
18	柔道部	1	0	1	48	ハンドボールサークル	19	6	25
19	剣道部	15	10	25	49	Wild Geese(アウトドア)	44	22	66
20	空手道部	6	5	11	50	サイクリングサークル	20	1	21
21	少林寺拳法部	9	11	20	51	ジャグリアーノ(ジャグリングサークル、大道芸)	64	26	90
22	合気道部	11	9	20	52	すまっしゅ(卓球)	14	7	21
23	ワンダーフォーゲル部	11	3	14	53	フラメンコサークル OLE!	0	8	8
24	ゴルフ部	14	0	14	54	RED HAPPINESS(軟式野球)	9	0	9
25	弓道部	14	4	18	55	合気道・武の道	3	4	7
26	洋弓部	22	5	27	56	NEXT(ダンス)	16	16	32
27	ヨット部	10	5	15	57	日本拳法部	5	5	10
28	端艇部(カッター部)	11	2	13	58	HOOP(バスケット)	14	7	21
29	自動車部	13	0	13	59	Links(ソフトテニス)	24	3	27
30	トライアスロン部	17	7	24	60	テコンドーサークル	12	0	12

●体育系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	山岳部	4	5	9	10	ラグビー部	25	15	40
2	競技スキー部	17	10	27	11	ゴルフ部	28	30	58
3	剣道部	25	25	50	12	陸上競技部	24	35	59
4	バレーボール部	17	27	44	13	野球部	14	10	24
5	バドミントン部	26	28	54	14	サッカー部	40	15	55
6	バスケットボール部	12	16	28	15	弓道部	19	35	54
7	硬式テニス部	43	39	82	16	卓球部	46	27	73
8	ソフトテニス部	14	21	35	17	空手道部	8	6	14
9	ハンドボール部	11	13	24	18	水泳部	2	1	3

●文化系・全学

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	管弦楽団	22	56	78	32	落語研究会	2	0	2
2	吹奏楽団	15	33	48	33	Transfer (編入生対象)	39	23	62
3	ギターマンドリンクラブ	14	7	21	34	SOLA (天文サークル)	27	22	49
4	ギタークラブ	16	15	31	35	BBS (教育ボランティア)	11	28	39
5	邦楽部	0	15	15	36	ぶるさぁ。(アンサンブルサークル)	23	25	48
6	室内楽団	4	11	15	37	聖書研究会	4	1	5
7	写真部	20	19	39	38	Pioneer (アカペラ)	37	54	91
8	合唱団	26	24	50	39	みえ・シネマ・アーカイブ	8	10	18
9	美術部	3	14	17	40	ジョイア (学習支援ボランティア)	1	3	4
10	漫画倶楽部	6	4	10	41	ユネスコクラブ	7	3	10
11	ESS	33	33	66	42	アンビシャスカード (マジック)	32	4	36
12	軽音楽部	75	35	110	43	Silhouette (ジャズセッションサークル)	3	2	5
13	めばえサークル	3	6	9	44	ぶらり旅サークル	10	4	14
14	人形劇団つくし	5	10	15	45	DUEL (カードゲームサークル)	6	0	6
15	ピアノ同好会 (KLUB KLAVIER)	15	20	35	46	DTMサークルJack	9	0	9
16	表千家茶道部	3	14	17	47	STRAT	5	7	12
17	裏千家茶道部	3	20	23	48	MUS-net (災害ボランティア)	4	0	4
18	TRPG同好会 (旧名:SF研究会 から変更)	15	1	16	49	食農サークル 農らく	5	2	7
19	リカゲル (創作活動サークル)	58	52	110	50	鳥人間サークル Pa-Tan!!	23	5	28
20	囲碁・将棋部	21	0	21	51	てらこや (留学生サポート)	8	10	18
21	HELLO FM!	13	10	23	52	K.A.F (森林ボランティア)	4	1	5
22	小原流華道部	1	5	6	53	ビッスモサークル	6	4	10
23	ヴァンパイア (献血推進サークル)	5	0	5	54	ぞくよん (病院ボランティア)	26	77	103
24	エレクトーンサークル23	7	8	15	55	しろちどり (手芸サークル)	0	8	8
25	万葉旅行の会	11	7	18	56	メイク (地域おこし)	11	18	29
26	Brass band (楽器演奏)	13	2	15	57	つくしんぼサークル (子供ボランティア)	11	40	51
27	かめっぶり	24	24	48	58	M3RC (ロボット作成)	2	1	3
28	書道サークル (心太)	9	10	19	59	FRre STyLe (ボランティア)	12	4	16
29	クレスト (演劇)	2	6	8	60	クッキングアシスト	3	8	11
30	卓上文化研究会	10	0	10	61	憲法の会	2	0	2
31	ねこサークル	29	38	67					

●文化系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	美術部	0	2	2	6	ロック部	20	19	39
2	東洋医学研究会	14	15	29	7	きゅうめい部	18	36	54
3	軽音楽部	22	22	44	8	子どもと一緒に小児医療を考える会	6	5	11
4	BJ -よき医療者をめざす会-	10	14	24	9	MIT (国際保健医療)	1	18	19
5	session Circle BAG	31	13	44	10	U-cam (小児糖尿病サマーキャンプ)	7	8	15

第62回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧

①日時 平成25年5月25日(土)・26日(日)
6月1日(土)・2日(日)、8日(土)・9日(日)、15日(土)・16日(日)、23日(日)、29日(土)、30日(日)
7月6日(土)・7日(日)、13日(土)・14日(日)、8月11日(日)

②場所 知多運動公園陸上競技場他19会場

③幹事大学 名古屋大学

④成績

(男子)

競技種目	大学名	三重大 順位	名古屋大 順位	岐阜大 順位	名工大 順位	豊技大 順位	静岡大 順位	浜医大 順位	愛教大 順位	備考
1 陸上競技		4	5	3	6	8	2	7	1	
2 水泳		3	2	1	5	8	4	7	6	
3 硬式野球		3	1	3	5	5	2	/	5	5位以下は順位なし
4 準硬式野球		5	1	5	3	/	3	2	5	5位以下は順位なし
5 硬式テニス		4	3	5	1	5	2	5	5	5位以下は順位なし
6 ソフトテニス										雨天中止
7 バスケットボール		3	/	1	5	6	2	/	4	
8 バレーボール		6	5	1	4	8	2	7	3	
9 卓球		4	1	3	5	7	2	/	6	
10 バドミントン		1	7	4	6	2	3	8	5	
11 サッカー		7	3	2	6	/	1	5	4	
12 ハンドボール		5	3	1	4	/	5	/	2	5位以下は順位なし
13 柔道		/	1	2	4	5	3	/	5	5位以下は順位なし
14 剣道		4	3	1	5	5	2	5	5	5位以下は順位なし
15 空手道		5	2	4	7		3	1	6	
16 弓道		5	4	5	3	5	5	1	2	5位以下は順位なし
17 体操		/	2	1	-	/	/	/	-	
18 馬術		3	2	6	5	/	1	/	4	
19 アーチェリー		1	3	4	/	/	5	/	2	
20 少林寺拳法		4	/	1	/	/	3	/	2	
男子順位		5	3	1	6	8	2	7	4	

(女子)

競技種目	大学名	三重大 順位	名古屋大 順位	岐阜大 順位	名工大 順位	豊技大 順位	静岡大 順位	浜医大 順位	愛教大 順位	備考
1 陸上競技		3	5	4	6	/	2	7	1	
2 水泳		4	5	2	/	/	6	3	1	
5 硬式テニス		5	5	5	/	4	1	3	2	5位以下は順位なし
6 ソフトテニス										雨天中止
7 バスケットボール		4	/	3	/	/	1	/	2	
8 バレーボール		1	4	2	/	/	3	/	-	
9 卓球		4	2	5	6	/	1	/	3	
10 バドミントン		2	6	5	7	/	3	1	4	
12 ハンドボール		4	/	1	/	/	3	/	2	
13 柔道										団体戦成立せず
14 剣道		1	2	5	/	/	4	5	3	5位以下は順位なし
15 空手道		5	4	/	/	/	1	3	2	
16 弓道		5	5	5	2	4	5	3	1	5位以下は順位なし
17 体操		/		/	/	/	/	/	/	オープン競技
19 アーチェリー		2	-	-	/	/	/	/	1	
女子順位		3	6	4	7	8	2	5	1	

平成25年度 活動報告

障がい学生支援室長 菊池 紀彦

1.障がい学生の支援・相談

- (1)聴覚障がい学生：1名(相談件数：のべ3件)
- (2)発達障がい学生の保護者：1名(相談件数：のべ2件)

2.支援学生の養成

- (1) 共通教育授業「障がい学生支援実践」の実施
 - ①ユニバーサルデザインについて(外部講師)
 - ②聴覚障がい者への支援(外部講師2名、うち1名は聴覚障害者)
 - ③視覚障がい者への支援(外部講師)
 - ④発達障がい者への支援
 - ⑤本学定型業務センター職員との交流

3.支援活動を行う学生の支援・相談窓口

- (1) 聴覚障がい学生のノートテイクについての調整
- (2) 他大学との交流機会の提供
 - ①聴覚障がい学生の情報保障に関する交流会(2013年5月18日、愛知教育大学)
 - ②障害学生支援セミナー「東海地区障害学生高等教育支援交流会」(2014年2月2日開催予定、愛知教育大学)

4.教員や職員との連携の窓口

- ①聴覚障がい学生が所属する学部の担当教員との連絡調整
- ②聴覚障がい学生が所属する学部学生の障がい学生支援実践(共通教育授業)の履修(担当教員との履修についての連絡調整)

5.大学の環境や制度改善への提案

- ①障がい学生が在籍することによる一般学生の意識に関する調査
- ②障がい者雇用に関わる企業、行政、大学、当事者等の関係機関のフォーラムにおける話題提供(ひろげよう!はたらくよろこびフォーラムinみえ：2014年1月27日開催)

6.その他

- (1) 障がい有する高校生の本学受験についての事前相談：2件
- (2) 高等教育機関における障害学生支援に関する全国協議会への参加(2013年10月25日)
- (3) 障害学生支援セミナー「発達障害学生の特性を生かした社会参入」への参加(2014年2月7日)

7.三重大大学教育GPにおける障がい学生支援の取組（平成24年度～平成25年度）

障がい学生支援室では、平成24年度～平成25年度の2年間、三重大大学教育GPを取得し、本学における障がい学生支援のあり方についての検討を行った。以下は、その取組についての成果報告（平成25年度）である。

(1) 取組の名称

学生・教職員の協働による障害学生への支援体制に関する研究

(2) 取組の主旨・目的

今日、ノーマライゼーション社会の実現が求められている。大学への進学も社会参加の一つと捉えた場合、障害学生の修学について、その人の疾病や機能の問題だけでなく、教育支援や生活支援についても考える必要がある。本学は「三重大学生支援方針」（2011）において、受け入れた学生は「宝」であり、その宝が輝くように教員、職員、学生が一体となって支援することを宣言した。これを具現化すべく教育学部特別支援教育講座では、2011年度に共通教育において「障がい学生支援実践」を開講した。この授業は、①障害についての正しい理解ができるようになること、②障害学生の自立につながる支援について実践的に学ぶこと、③三重大大学の資源や個性、歴史を活かした支援のあり方について考えることができるようになること、を目的としている。取り組みを進める中で、昨年度、聴覚障害のある学生が入学してきた。そこで、教育学部特別支援教育講座と学生生活支援室の連携のもとに、支援学生の公募、支援学生と障害学生とのマッチング、授業支援などの修学支援を行ってきた。こうした支援は今後ますますニーズが高まっていくと思われるが、本学における障害学生への支援は始まったばかりであり、その体制が十分とは言い難い。本取組では、障害学生への支援を通じて、健常学生と障害学生が共に成長しあうこと、すなわち、障害学生が自らの能力を伸ばして主体的に成長するとともに、学生と教職員も多様な人間の存在を認め、障害学生と接する中で広い視野と豊かな人間性を身につけて成長することができるよう、全学的な支援体制を構築していくことを目的とする。

(3) 取組の状況

昨年度の教育GP成果報告会（中間報告）においては、上述した聴覚障害学生への支援の実際について報告した。2013年度には、全学に「障がい学生支援室」が設置された。障がい学生支援室は、①障がいのある学生の学修及び研修支援に関すること、②障がいのある学生が所属する学部等との連絡・調整に関すること、を業務としている。上述した昨年度の取組を踏まえ、本学における障害学生支援を実施してきた。具体的には、(1) 障害学生の支援・相談および当該学部との連携、(2) 支援学生の養成、(3) 障害者支援の構築を目指した産官学の連携、(4) 本学における一般学生の障害学生支援に関する傾向調査、(5) 高等教育機関における障害学生支援に関する全国協議会発起人への参加、について取組を行った。以下では、これら5点について報告をしたい。

(4) 取組の成果

①障害学生の支援・相談および当該学部との連携：昨年度から引き続き、聴覚障害学生（2年生）への支援を実施した。4月初旬に今年度の履修計画および支援を必要とする授業についての確認を行ったところ、共通教育授業・専門授業ともにノートテイク支援は必要ない、との事であった。また、担任の教授と連絡を取ったところ、昨年度のFD研修（筆者が話題提供）を受けて、筑波技術大学から具体的な授業運営方法等についてのアドバイスを貰い、可能なものについては、専門授業や施設に導入する予定、とのことであった。

②支援学生の養成：「障がい学生支援実践」において、支援学生の養成をするべく実践的授業を実施した。今回は、新たに実施した本学キャンパス環境整備室職員との交流（計2回の授業）について記した。初回は、新聞記事から特定の部首をもつ漢字を探す活動を実施した。2回目は、共通教育校舎周辺の環境整備活動を実施した（写真1）。受講学生の半数は、職員との交流が初めてであったためか、当初お互いの会話も少なかったが、2回目には、職員が受講学生に対し道具の扱い方などを説明し、活動を共にするなかで互いに意見や感想を交わす様子が見られるようになった。キャンパス環境整備室職員との交流により、障害者観の変化が見られた学生がいた。学生の中には「障害者＝できないことがたくさんある」というイメージを持っている者も多い。障害のある人たちは苦手なことはあっても得意なことたくさんあること、我々が勝手に決めつけているだけであること、苦手なことに対するさりげない支援の必要性を理解するなど、彼らと実際にかかわることで学ぶことの意義は大きいと思われる。



写真1 共通教育校舎周辺の環境整備活動（落ち葉集め）

③障害者支援の構築を目指した産官学の連携：2014年1月に「ひろげよう!はたらくよろこびフォーラムinみえー企業・行政・大学が一体となった障がい者の新たな雇用創出とその取組ー」のフォーラムにおいて、「障がい者雇用の新しい試みと経営の進化」というテーマで座談会を実施した。座談会では筆者の他、雑誌編集長、企業社長、三重県職員が話題提供を行った。筆者は、本学のキャンパス環境整備室職員の日々の取組や、学生と交流について紹介した。また、学生教育における特色ある取組として「障がい学生支援実践」を開講していること、本学における障害学生支援の取組についても紹介した。その上で、学生・教職員の協働によるコミュニティとしての大学づくり、分野を問わず障害者支援を行うことのできる人材を育成していくことが、学生が大学を卒業後に社会人として働く上での大きな礎になることを示した。企業社長からは、「特別支援学校等が企業の欲しがる人材を育てていくことは難しい。障害のある人達が社会の中で生きていく、企業人として働いていくためには、障害者雇用や障害学生支援を行っている三重大学の力が必要である。」との意見が示された。

④本学における一般学生の障害学生支援に関する傾向調査：特別支援教育講座の学生が「障がい学生支援実践」を受講した学生に対し、障害者や障害学生支援についての考え方を明らかにするためにインタビュー調査を実施した。具体的には、聴覚障害学生へのノートテイクに関し、「支援学生と障害学生の関係」「報酬の有無」「支援の種類」について、一般学生が支援学生になることを志願する理由や躊躇する理由について検討を行った。その結果、障害学生支援の捉え方については、「障害学生が大学に在籍することに対しての偏見がないこと」「支援学生になることを学びの機会と捉えていること」が明らかとなった。また、支援学生と障害学生との関係においては、「支援を依頼されると引き受け、依頼されないと障害学生が支援を必要としていないと判断して見守る傾向があること」「障害学生との関係よりも、報酬の有無や支援の種類を重視している傾向があること」が明らかとなった。

⑤高等教育機関における障害学生支援に関する全国協議会発起人への参加：近年、高等教育機関における障害学生支援が全国の大学で広がりつつあるものの、各大学における障害学生支援に携わる実務者（教職員）同士が情報交換を行う場が十分に確保されていない。こうした問題に対応するべく、「障害学生支援全国協議会」（以下、「協議会」）が立ち上がり、準備会が2013年10月に開催された。筆者も発起人の一人として協議会に参加した。今後は、協議会に積極的に参加することにより、本学独自の取組について紹介をするとともに、他大学のユニークな取組について情報収集を行い、本学の障害学生支援に活かしていきたいと考えている。

(5) 今後の課題

2年間の取組から、本学学生における障害学生支援の考え方や支援の実際については、一定の蓄積をみてきたものと思われる。また、学生同士の支援だけでなく、本学における障害者雇用についての理解も今後ますます広がりを見せていくことが期待される。

しかしながら、教職員に対する理解・啓発活動は、障害学生が所属する学部学科教員と障がい学生支援室との連携にとどまり、その活動内容が他学部の教職員に十分に周知・理解されているとはいいがたかった。来年度、本学には肢体不自由のある学生が入学することが決まっている。障害学生支援の実際については、障害学生が所属する学部や研究科の教職員が中心となり、障がい学生支援室が能動的にかかわることができるような支援体制を目指す必要がある。肢体不自由のある学生が充実した学生生活を送ることができるよう、各部局のコーディネートを行うなかで得られた知見を集積し、全学の各部門へ情報提供ができるよう取り組んでいきたい。

Ⅳ 学生なんでも相談室

平成25年度 活動報告

学生なんでも相談室長 鈴木 英一郎

1.相談・援助活動

(1) 来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	peer 対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計					
4月	3	2	3	1	0	9	200	22	33	120	384
5月	3	4	0	1	0	8	58	30	31	0	127
6月	2	1	1	1	2	7	27	41	52	0	127
7月	0	7	1	0	8	16	24	40	41	0	121
8月	0	2	1	2	1	6	31	20	26	0	83
9月	1	2	1	0	0	4	14	17	22	0	57
10月	1	5	2	0	0	8	28	33	38	0	107
11月	2	3	1	1	0	7	16	28	15	0	66
12月	1	2	2	3	0	8	32	28	28	0	96
1月	2	1	2	0	2	7	17	31	20	0	75
2月	1	1	0	0	1	3	17	19	20	0	59
3月	2	3	0	0	0	5	46	17	30	0	98
合計	18	33	14	9	14	88	510	326	356	120	1400

※数字はいずれも延べ人数を示す。

※「Co.」は心理カウンセラーを、「peer」はピアサポーター学生をそれぞれ指す。

※「新規相談受付」件数の「その他」は、心理テスト・箱庭療法体験、分類困難な相談等の総数を示す。

※「案内」は事務的な案内やガイダンス、および比較的軽微な相談等の総数を示す。

※「その他の継続対応」は、主にCo.による担当事例に関する面接室外のケースワーク活動等の総数を示す。

(2) ピアサポーターによる相談活動

① 新入生交流会「サボ太のお茶会 ～はじめての一步を踏み出そう～」

4月1日、8日(ピアサポートルーム)

② なんでも相談企画

春期：「共に生きよう」

※面談型(総研Ⅱ1階)4月3日～4月5日、(環境情報科学館)4月10日～4月19日

夏期：「ここに悩み事があるじゃろ」

※相談カード投稿型 7月19日～8月2日

秋期：「人の温もりが欲しいあなたに」

(後期履修・生活相談窓口、ボランティア情報紹介)

※相談カード投稿型 10月21日～11月8日

※面談型(ピアサポートルーム) 11月5日～11月15日

2.教育・広報活動

(1)教育活動

①授業の担当

共通教育科目 前期 「こころのサポート」(鈴木)
共通教育科目 前期 「ピアサポート実践」(川島・鈴木)
共通教育科目 後期 「ピアサポート実践」(川島・鈴木)
共通教育(教職)科目 前期 「教育臨床Ⅱ」(鈴木)
共通教育科目 後期 「学生生活支援実践」(鈴木)
教育学部 後期 「心理的問題解決論」(鈴木)

②その他

医学部 三重県における医療系多職種連携教育(三重IPE)に関する検討会メンバー
及び関連ワークショップ講師(鈴木)

(2)広報活動

①教職員研修(FD・SD)

人文学部FD 学生対応について講演 平成25年9月11日 (鈴木)
生物資源学研究科FD 学生対応について講演 平成25年10月10日・11日 (鈴木)
生物資源学研究科FD 不登校について講演 平成25年11月15日・18日 (鈴木)
生物資源学研究科FD 発達障がいについて講演 平成25年12月12日・13日 (鈴木)

②広報

- ・新入生に対する相談室PRカードの配布
- ・ポスターの作成と掲示
- ・教職員を対象としたニュースレターの作成・配布

②その他

- ・三重大生協 保護者のつとめ 講演 平成26年3月15日・22日(鈴木)

3.研究活動

(1)論文

- ・鈴木英一郎

学生相談に関する近年の研究の動向:2012年度の文献レビュー 学生相談研究34巻 第2号,167-178.

- ・高橋国法・足立由美・鈴木英一郎・栗田智未・高野明・菊池悌一郎・長谷川明弘

学生相談における心理職の専門性と独自性-連携と実践の在り方- 山形大学保健管理センター紀要 第12号, 33-42.

(2)学会発表

- ・川島一晃・鈴木英一郎・中川正

教員・職員・学生の協働を目指す“学生支援サミット”の実践-AI(Appreciative Inquiry)の手法を参考にして- 日本学生相談学会第31回大会

(3) シンポジウム

- ・日本心理臨床学会第32回秋季大会(平成25年8月25日)における自主シンポジウム「学生相談カウンセラーの発達過程」に鈴木(司会・企画者)と川島(話題提供者)が登壇。

4.大学・地域連携

(1) 講演・研修

①地域(自治体など)

- ・公益社団法人三重県看護協会 三重県保健師助産師看護師実習指導者講習会
講師 平成25年9月5日 (鈴木)

5.研修

- ・日本心理臨床学会第32回大会春季大会
(ワークショップ:平成25年5月26日～27日)に鈴木が参加。
- ・第51回全国学生相談研修会
(主催:日本学生相談学会,平成25年11月25日～27日)に鈴木、川島、後藤綾が参加。
- ・学生相談ケース検討会全員研修会
(主催:学生相談ケース検討会,平成26年2月9日)に鈴木が参加。

平成25年度 スタッフ

室長	鈴木 英一郎(学生総合支援センター 助教)
アドバイザー	白石 泰三(医学部医学科 教授)
カウンセラー	川島 一晃(学生総合支援センター 講師)
	後藤 綾文(学生総合支援センター 特任講師)
	藤川 和(非常勤)
	牧野 勢津子(非常勤)
	イレーネ・ビューフリ・内田(非常勤)
インターカー	浮田 めぐみ(事務補佐員)

学生なんでも相談室

- お知らせ
- 心に残る先生からの言葉
- 相談室利用状況から
- カウンセラーのコラム

Vol.2

発行/2013年9月
学生なんでも相談室

お知らせ

学生なんでも相談室の「復学支援プログラム」をご利用ください。

学生なんでも相談室では、様々な事情から休学に至った学生が、再び大学生活に戻り適応するに至るまでのサポートを「復学支援プログラム」と称して取り組んでおります。

休学によって、エネルギーを充電して復学に至るケースが大半かとは存じますが、一方では、それが彼らにとって想像以上に高いハードルとなっていくこともあります。

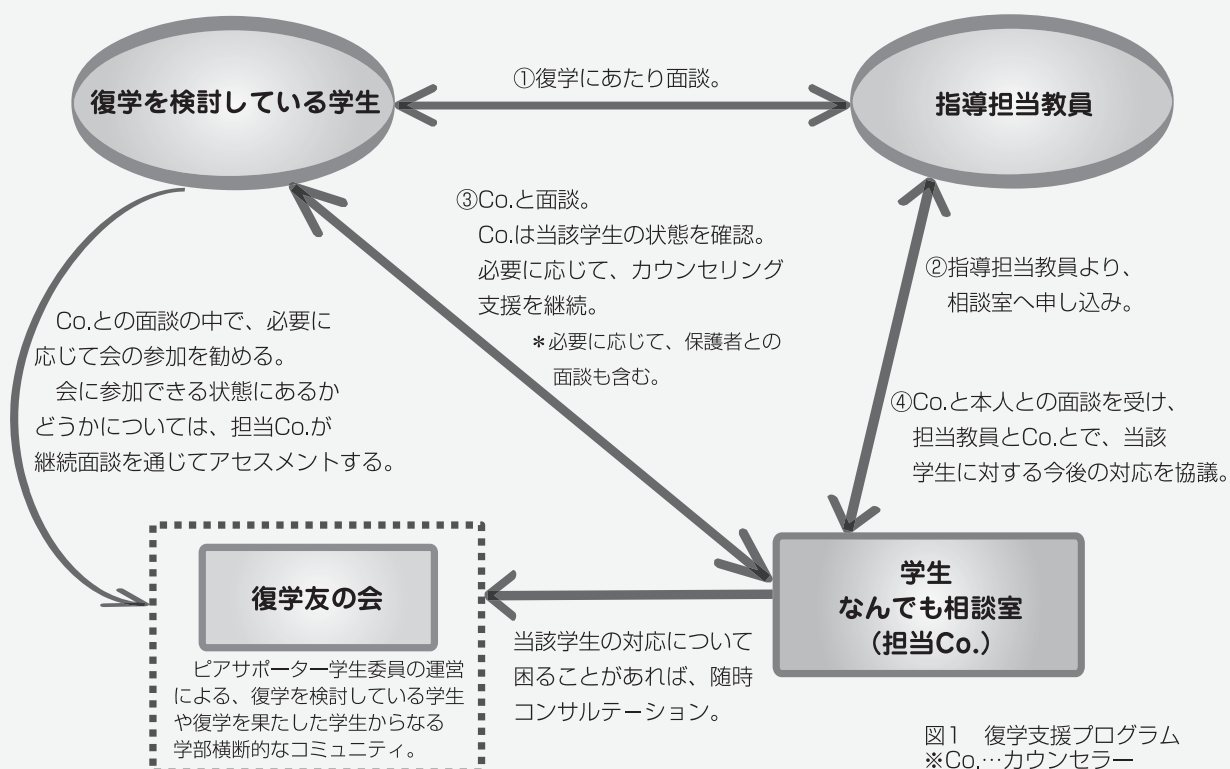
＊同級生と時間割（場合によっては学年も）が変わってしまう事によって、それまでの友だちとの関係が疎遠になり孤立してしまう。

＊再適応に至るまでのペース配分が分からずに、遅れを取り戻そうといきなりアクセル全開に勉強や研究に取り組もうとして、再び調子を崩してしまう。

実際、上記のような学生の対応にお困りになられたご経験がある先生方もおられるのではないかと存じます。

そこで、学生なんでも相談室では、上記のような問題が起こってしまう事を防ぐために、復学を検討している（また復学後間もない）学生とその指導を担当しておられる先生方を対象に「復学支援プログラム」という取り組みによるサポートを行っています。詳細は図1の通りです。

学生の対応を進める中で関心を持っていただけたら、ぜひ一度学生なんでも相談室までお問い合わせください。

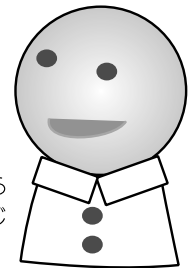


心に残る先生からの言葉

ここでは、「先生からこんな言葉をかけてもらって嬉しかった」、「あの時の先生のこんな言葉で支えられた」というような本学における学生の体験を、ピアサポーター（ピアサポーター学生委員会、生物資源ピアサポーター）の協力のもと収集して、今後順次紹介していきます。

「〇〇はできているが、△△が良くない。
〇〇の時のようにもう一度修正しなさい。」

できていない所だけでなく、できている所を評価してもらえた気持ちになった。良いところを探してくれていると感じられたし、やる気にも繋がった。（修士1年）



【カウンセラーより】

ある学生が、先生に課題について見てもらった時の一コマのようです。言葉そのものは、いわゆる「ダメ出し」であり、厳しい一言のように聞こえますが、学生にとってはむしろ前半の「〇〇はできているが」と言ってもらえたことについて、嬉しかったという体験になっているようです。よく「今の学生は厳しく言うとすぐに潰れてしまう」と嘆いておられる先生方もおられますが、少し“誉めてあげる（認めてあげる）”部分を作ることによって意外に学生たちの中にも届いていくのかもしれません。

相談室利用状況から

前回は7月から9月にかけての相談学生の傾向をお伝えしましたので、今回は10月から12月、すなわち後期の授業開始期にあたる時期の傾向について、お伝えしたいと思います。

表1は、昨年度の10月～12月期の当相談室内容別新規相談受付件数を示したものです。これを見ると、「心理相談」の数が他の相談と比べてこの時期多くなっているのが分かります。ここでいうところの「心理相談」は、友人関係を中心とした対人関係における悩み事や、「ストレス解消が自分で上手く出来ない」「自分のことがよく分からない」等と言った自己に関する悩み事などを指しています。こうした心理的なテーマで悩むためには、前提としてある程度の“心理的な落ち着き”が必要です。前期中は新生活への適応に必死で、また夏休みの間は気にする必要が無いため、自分の中で気づかず済んでいたこうした違和感も、後期の始まりによって再び直面せざるを得なくなり、ここに来て「困

りごと」として表面化してきた、という背景が想像されます。更には、そのプロセスで、不登校や引きこもりといった状態を示す学生さんも出て来ると思います。青年期という時期を考えれば、自分の存在や人生について一人でじっくり考えるという作業自体は必ずしも悪いこととは言えませんが、大人から見て「そんな程度のことで・・・」と思うような内容でも深刻に考えすぎて思い詰めてしまっている事があるかもしれません。是非、周囲の学生さんの状態に注意を払っていただければと存じます。

表1

月	教育	心理	進路・職業	生活	合計
10月	3	11	1	2	17
11月	2	8	1	2	13
12月	3	5	1	0	9
合計	8	24	3	4	39

カウンセラーのつらみ

学生から教えられる失敗のススメ

（カウンセラー）川島一晃

先日学生数人と話をしていると「最近バイトで失敗しまして」と失敗談義に花が咲きました。そう深刻な失敗ではありませんが、本人はえらく反省しています。すると他の学生からは「いやあ、失敗したけど〇〇は勉強になったね」とエールが出てきます。案外、自分の失敗でなければ少し冷静になって失敗の“美味しい”側面に気がつけるのかもしれませんが。これに端を発し、各自が自分の失敗を持ち寄って自慢し合う『失敗自慢

の会』が成立しました。会のルールは、①相手の失敗に最大限の敬意を払う、②自分が笑って話せる“傷口の乾いた”失敗のみを素材として扱う（生傷は血が出ます）、③失敗のおかげで見えたことを皆で味わう、の3つです。「失敗」という素材に実はその人の持ち味がにじみ出す点が面白いところですが「失敗＝ダメなこと・取り返しのつかないこと」と捉えている学生さんが多いように感じます。先生方も、時には、ご自身の失敗談を周囲の学生たちに語っていただくと、彼らにとっては良い勉強になるかもしれません。

V キャリア支援センター

平成25年度 活動報告

1. キャリア教育

【平成25年度開講 共通教育キャリア授業科目】

科目名	担当教員	開講時期	単位数	備考
アントレプレナー論	教育学部 教授 山根 栄次 他	前期	2単位	
三重ブランドの創出	人文学部特任准教授 谷口 智雄 他	後期	2単位	
知財学入門	教育学部 教授 松岡 守 他	後期	2単位	
「4つの力」スタートアップセミナー	高等教育創造開発センター 中島 誠 他	前期(クラス指定)	2単位	
キャリアプランニング	学生総合支援センター 特任教授 宮崎 冴子 他	前期(6コマ) 後期(1コマ)	各2単位	
こころのサポート	学生なんでも相談室 助教 鈴木英一郎 他	前期(3コマ) 後期(2コマ)	各2単位	
学習支援実践I	高等教育創造開発センター 中島 誠 他	前期	2単位	
学習支援実践II(数学)	工学部 非常勤講師 小保方 よしの	後期	2単位	
学習支援実践III(日本語)	人文学部 教授 吉田 悦子 他	前期	2単位	
学生生活支援実践	学生なんでも相談室 助教 鈴木英一郎	後期	2単位	
留学生支援実践	人文学部 教授 中川 正 他	後期	2単位	
大学紹介実践	社会連コーディネータ 客員教授 佐藤 之彦	後期	2単位	
広報誌編集実践	生物資源学部 教授 村上 克介	後期	2単位	
障がい学生支援実践	教育学部 准教授 菊池 紀彦 他	後期	2単位	
環境ISO実践	人文学部 特任准教授 谷口 智雄 他	後期	2単位	
三重大ブランドづくり実践	生物資源学部 教授 久松 眞	後期	2単位	
男女共同参画実践	人文学部 教授 朴 恵淑 他	後期	2単位	
法則探検実践	人文学部 教授 中川 正	後期	2単位	
AIー人と組織を生かす発想法ー	人文学部 教授 中川 正 他	前期(2コマ) 後期(1コマ)	各2単位	
ピアサポート実践	学生総合支援センター 講師 川島一晃 他	前期 後期	各2単位	

就職とキャリア形成	医学部 教授 西村 訓弘	後期	2単位	
ボランティア実践	学生総合支援センター 特任教授 宮崎 冴子 他	後期	2単位	
キャリア形成・能力開発	学生総合支援センター 特任教授 宮崎 冴子 他	前期	2単位	
仕事・社会を知る	学生総合支援センター 特任教授 宮崎 冴子 他	後期	2単位	
キャリア・インターンシップⅠ	学生総合支援センター 講師 川島 一晃 他	前期	2単位	
キャリア・インターンシップⅡ	学生総合支援センター 特任教授 宮崎 冴子 他	前期	2単位	
法則探検入門	人文学部 教授 中川 正	前期	2単位	
現代の消費生活と消費者自立	教育学部 教授 吉本 敏子	前期	2単位	
PBLセミナーⅠ「キャリアイベント実践」	学生総合支援センター 特任教授 宮崎 冴子 他	後期	4単位	
社会連携実践Ⅰ	医学系研究科 教授 西村 訓弘 他	後期	2単位	
社会連携実践Ⅱ	医学系研究科 教授 西村 訓弘 他	後期	2単位	
社会連携実践Ⅲ	非常勤講師 伊藤 公昭 他	後期	2単位	
合 計		36科目(前期13科目) (後期23科目)		

2.インターンシップ

【所属別・学年別参加者数】

所属	学部生						大学院生			合計
	1年	2年	3年	4年	研究生等	小計	修士	博士	小計	
人文学部	4	10	38			52			0	52
教育学部	6		30	1		37			0	37
医学部						0			0	0
工学部	1	1	44	8		54	30	1	31	85
生物資源学部	19	15	39			73	11	1	12	85
地域イノベーション学研究科						0	12		12	12
国際交流(研究生等)					2	2			0	2
合計	30	26	151	9	2	218	53	2	55	273

○企業等受入数 131機関

○インターンシップ事前・事後研修会を開催

〈事前研修会〉

- ・平成25年5月11日(土) 13:00～17:00 講堂大ホール他
- ・参加学生数 295人

〈事後研修会〉

- ・平成25年10月21日(月) 16:30～18:30 講堂小ホール
- ・参加学生数 110人

3.就職活動支援

(1) 就職ガイダンス

- ・平成25年4月～平成26年2月 33回実施 講堂大ホール他
- ・参加学生数 延べ 8,439人

		ガイダンス名等	日時	場所	講師等	対象	参加数
前期	1	今からでも間に合う 就職活動再スタート講座	5月15日(水) 16:30～18:00	メディアホール	(株)リクルート	4年、院2年対象	16
	2	公務員試験対策講座	5月22日(水) 13:00～14:30 16:30～18:00	小ホール	生協	全学 (1年～3年 院1年)	322
	3	これだけは押さえよう! 就活スケジュール	5月29日(水) 16:30～18:00	大(小)ホール	(株)マイナビ	3年、院1年対象	303
	4	職務適正検査 (業界・企業・職種説明)	6月4日(火) 16:30～18:00	小ホール	(株)ディスコ	3年、院1年対象	254
	5	就活全般相談 (フリースタイル)	6月12日(水) 13:00～17:00	メープル館2F	キャリア 支援センター	4年、院2年対象	26
	6	日経新聞の読み方講座	6月19日(水) 16:30～18:00	メディアホール	日経メディアプロ モーション(株)	全学 (1年～3年 院1年)	59
	7	入門編/ グループディスカッション体験	6月26日(水) 13:00～15:00 16:30～18:30	メディアホール	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	55
	8	社会人としての 身だしなみとマナー	7月3日(水) 16:30～18:00	メディアホール	(株)学情/生協	3年、院1年対象	80
	9	就活全般相談 (フリースタイル)	7月10日(水) 13:00～17:00	メープル館2F	キャリア 支援センター	4年、院2年対象	12
	10	生物資源学部生のためのこれ からの仕事の探し方について	7月17日(水) 16:30～18:00	生物資源学部 大講義室	キャリア 支援センター	全学 (1年～3年 院1年)	131
	11	文系学部生のためのこれか らの仕事の探し方について	7月25日(水) 16:30～18:00	メディアホール	(株)リクルート	全学 (1年～3年 院1年)	46
	12	グループ選考対策講座	7月31日(水) 13:00～15:00 16:30～18:30	メディアホール	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	33
後期	13	第1部 働くとは…労働法の 基礎知識教えます!!	10月2日(水) 15:30～16:20	大ホール	三重労働局/ (株)マイナビ	3年、院1年対象	426
		第2部 活動開始に向けた! 就活テクニック全て教えます!!	10月2日(水) 16:30～18:00				
	14	就活全般相談 (フリースタイル)	10月7日(月) 13:00～17:00	情報コーナー	キャリア 支援センター	4年、院2年対象	16
	15	文系対象/理系対象 実践、業界企業研究	10月9日(水) 13:00～15:00 16:30～18:00	第4会議室および 情報コーナー	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	57
		文系対象/理系対象 実践、業界企業研究	10月15日(水) 13:00～15:00 16:30～18:00	セミナー室および 情報コーナー	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	32

後 期	16	OB・OGに聞く! パネルディスカッション	10月16日(水) 16:30~18:00	小ホール	(株)ジェイ・ブロード	3年、院1年対象	101
	15	文系対象/理系対象 実践、業界企業研究	10月24日(火) 13:00~15:00 16:30~18:30	セミナー室および 情報コーナー	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	52
	17	就活全般相談 (フリースタイル)	10月29日(火) 13:00~17:00	環境・情報科学館 2F 就職支援コーナー	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	29
	18	就活全般相談 (フリースタイル)	11月1日(金) 13:00~17:00	情報コーナー	キャリア 支援センター	4年、院2年対象	13
	19	ワーク エントリーシート対策	11月6日(火) 13:00~15:00 16:30~18:30	メディアホール	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	100
	20	第11回 リーディング産業展みえ	11月7日(木) 10:00~17:00 ----- 11月8日(金) 10:00~16:00	四日市ドーム (四日市市大字 羽津甲5169)	企業・団体	3年、院1年対象 4年、院2年対象 (11月7日のみ)	130
	21	先輩に聞く就活の仕方	11月13日(水) 13:00~17:00	大・小ホール	キャリア支援 センター/生協	全学 (1年~3年 院1年)	179
	22	ワーク エントリーシート対策	11月20日(水) 13:00~15:00 16:30~18:30	メディアホール	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	112
	23	就職活動間近!これだけは 知っておこう 就活のノウハウ	11月26日(火) 16:30~18:00	小ホール	(株)リクルート	3年、院1年対象	247
	24	マイナビからの就活 アドバイス伝えます!	11月27日(水) 16:00~17:30	メディアホール	(株)マイナビ	4年、院2年対象	6
	25	就活全般相談 (フリースタイル)	12月4日(水) 13:00~17:00	情報コーナー (総合研究棟Ⅱ 1階)	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	41
	26	公務員等説明会	12月5日(木) 13:00~17:00	小ホール	各機関(公務他 公法人含む)	3年、院1年対象	125
	27	理系企業研究会	12月11日(水) 13:00~17:00	小ホール	理系対象企業 6社	3年、院1年対象	151
	28	企業研究会まわり方講座!	12月17日(火) 16:30~18:00 ----- 12月18日(水) 16:30~18:00	小ホール	(株)ジェイ・ブロード	3年、院1年対象	207
	29	学内企業研究会	12月21日(土) ~25日(水) 9:30~17:30	講堂すべて	大手企業・地元 優良企業536社	3年、院1年対象	4,716
	30	これで面接マスター! 面接スタートに向けて	1月15日(水) 16:30~18:30	大ホール	(株)リクルート	3年、院1年対象	208
	31	女子限定! 学内企業研究会	1月22日(水) 13:30~16:00	講堂すべて	女子学生の採用に 積極的な企業19社	3年、院1年の 女子対象	75
	32	すぐに活用できる!就職活動講座 (三重銀行採用面接官による)	1月30日(木) 13:00~15:00	メディアホール	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	45
	33	就活全般相談 (フリースタイル)	2月14日(金) 13:00~17:00	情報コーナー、 セミナー室	キャリア 支援センター	3年、院1年対象	34
計							8,439

- (2) ミニ講座(少人数制：個人面接・集団面接・グループディスカッション対策等)
 ・平成25年4月～平成26年3月 31回実施 就職情報コーナー他
 ・参加学生数 延べ322人

	実施日	内容	参加数
1	4/5	個人面接対策 ～3人一組ロープレ型～	12
2	4/10	個人面接対策	6
3	4/23	個人面接対策	6
4	5/30	就職活動講座	11
5	7/2	集団面接対策(公務員)	5
6	7/16	個人面接対策	8
7	7/19	集団面接対策(公務員)	2
8	7/26	集団討論(公務員)	9
9	8/6	個人面接(公務員)	9
10	8/7	集団討論(公務員)	7
11	8/13	集団面接(公務員)	2
12	9/24	集団面接(公務員)	6
13	10/4	集団討論(公務員)	10
14	10/11	集団面接(公務員)	2
15	10/16	集団討論(公務員)	5
16	10/17	個人面接(公務員)	8
17	10/25	集団面接／個人面接(公務員)	5
18	11/11	個人面接	3
19	12/18、12/20	エントリーシート対策	52
20	1/10	グループディスカッション	13
21	1/23	グループディスカッション	14
22	1/28	グループディスカッション	12
23	2/7	グループディスカッション	25
24	2/17	グループディスカッション	14
25	2/20	集団面接対策講座	11
26	2/21	グループディスカッション	14
27	3/5	集団面接対策 ～不動産業界編～	5
28	3/5	集団面接対策 ～3人一組ロープレ型～	12
29	3/12	グループディスカッション	14
30	3/20	個人面接対策	11
31	3/28	個人面接対策	9
計			322

- (3) 就職相談
 ・キャリア・カウンセラー就職相談〔就職相談コーナー〕

【月別・相談内容別件数】

単位:件

	進路相談	進路決定 相談	内定・内内 定の相談	履歴書作成	エントリー シート作成	志望動機	自己PR	面接	メンタル面	自己分析	その他	合計
4月	19	7	2	5	19	4	3	83	0	0	5	147
5月	15	1	18	2	17	0	0	47	0	0	3	103
6月	8	2	10	4	30	3	3	46	0	0	9	115
7月	16	3	15	4	25	4	1	55	0	0	8	131
8月	14	1	9	2	1	4	1	44	0	0	3	79
9月	20	0	9	3	14	1	1	27	0	0	5	80
10月	20	2	4	8	9	10	1	36	0	0	4	94
11月	33	2	11	2	8	4	14	16	0	0	0	90
12月	20	7	2	9	28	2	18	12	0	0	0	98
1月	22	3	0	19	111	3	15	27	0	0	2	202
2月	15	0	0	12	111	0	8	40	0	0	1	187
3月	13	3	4	12	65	4	3	66	0	0	4	174
合計	215	31	84	82	438	39	68	499	0	0	44	1,500

4.キャリア・ピアサポーター

○平成25年度(前期)資格認定者	上級	12人
	初級	15人
(後期)資格認定者	上級	6人
	初級	61人

5.文部科学省補助金事業

○文部科学省大学改革推進等補助金「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(平成24年度新規事業)」に中部地域23校の代表校(幹事校)として採択

- 1.取組名称：「中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化」
- 2.事業期間：平成24年度～平成26年度
- 3.取組テーマ：(1)アクティブラーニングを活用した教育力の強化
(2)地域・産業界との連携力の強化
- 4.事業費：平成25年度 255,839千円(中部地域大学グループ全体)
22,000千円(三重大学)

平成25年度就職状況について

【地域別就職状況及び就職率】

平成26年5月1日現在

学 部	区 分	卒業生(人)	進学者	臨床研修医	その他	就職者	卒業生の内訳					就職率(%) (就職希望者に占める就職者の割合)				
							三重県	愛知県	東海地方 (静岡・岐阜)	関東地方	近畿地方	その他	平成25年度		(参考) 平成24年度 就職率(%)	(参考) 平成23年度 就職率(%)
													就職率(%)	対前年度増減(%)		
人文学部	文学部	107 (85)	9 (6)	17 (11)	81 (68)	38 (31)	19 (15)	5 (4)	9 (9)	7 (6)	3 (3)	94.2 (95.8)	1.4 (4.1)	92.8 (91.7)	92.1 (92.7)	
	法学部	180 (84)	4 (2)	29 (17)	164 (76)	46 (18)	34 (24)	5 (5)	36 (19)	12 (6)	5 (4)	95.2 (96.6)	1.2 (3.6)	96.2 (96.0)	97.0 (97.5)	
	経済学部	287 (169)	13 (8)	0 (0)	245 (144)	84 (49)	76 (39)	13 (9)	45 (28)	19 (12)	8 (7)	96.1 (95.4)	△ 0.1 (0.4)	96.2 (95.0)	96.3 (95.0)	
	教育学部	149 (81)	13 (5)	8 (3)	128 (73)	78 (44)	29 (16)	4 (2)	6 (3)	7 (6)	7 (6)	96.9 (98.3)	3.1 (3.7)	96.9 (98.3)	98.4 (98.6)	
	教育学部	20 (8)	3 (0)	1 (0)	16 (8)	4 (2)	8 (3)	1 (1)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	94.1 (100.0)	0.0 (0.0)	94.1 (100.0)	100.0 (100.0)	
工学部	工学部	16 (8)			16 (8)	8 (4)	4 (2)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	37 (30)	12 (12)	3 (3)	22 (15)	7 (5)	8 (6)	1 (0)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	94.7 (94.1)	
	工学部	222 (127)	28 (17)	0 (0)	182 (104)	97 (55)	49 (27)	7 (3)	10 (7)	10 (5)	9 (7)	96.5 (100.0)	2.3 (2.7)	97.2 (97.3)	96.3 (96.1)	
	工学部	109 (34)		106 (34)	3 (0)							— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	工学部	94 (87)	2 (2)	10 (8)	82 (77)	47 (44)	15 (14)	2 (2)	4 (3)	10 (10)	4 (4)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
医学部	医学部	203 (121)	2 (2)	106 (34)	89 (77)	47 (44)	15 (14)	2 (2)	4 (3)	10 (10)	4 (4)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	89 (5)	54 (2)	2 (0)	33 (3)	5 (0)	20 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	85 (1)	50 (0)	2 (0)	33 (1)	4 (0)	16 (1)	2 (0)	6 (0)	3 (0)	2 (0)	100.0 (100.0)	5.9 (0.0)	94.1 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	95 (17)	62 (10)	2 (1)	31 (6)	9 (1)	14 (2)	2 (1)	4 (2)	2 (0)	1 (1)	96.9 (100.0)	3.8 (0.0)	93.1 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	47 (13)	21 (6)	2 (1)	24 (6)	4 (2)	4 (1)	1 (0)	8 (2)	7 (0)	1 (1)	92.3 (85.7)	△ 3.5 (△ 14.3)	95.8 (100.0)	100.0 (100.0)	
地域イノベーション学部	工学部	65 (9)	23 (0)	5 (0)	37 (9)	4 (1)	11 (6)	1 (0)	13 (1)	6 (1)	2 (0)	90.2 (100.0)	△ 9.8 (0.0)	100.0 (100.0)	91.4 (100.0)	
	工学部	37 (4)	22 (1)	3 (0)	12 (3)	2 (1)	6 (2)	1 (0)	3 (0)	3 (0)		100.0 (100.0)	9.5 (0.0)	90.5 (100.0)	95.0 (100.0)	
	工学部	418 (49)	232 (19)	0 (0)	16 (2)	170 (28)	28 (5)	6 (1)	35 (5)	24 (2)	6 (1)	96.0 (96.6)	0.6 (△ 3.4)	95.4 (100.0)	95.7 (100.0)	
	工学部	66 (35)	16 (6)	7 (3)	43 (26)	13 (7)	11 (9)	3 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	100.0 (100.0)	2.3 (0.0)	97.7 (100.0)	92.9 (91.7)	
	工学部	93 (32)	19 (4)	11 (4)	63 (24)	14 (2)	24 (11)	6 (3)	8 (3)	10 (4)	1 (1)	92.6 (96.0)	△ 0.5 (6.0)	93.1 (90.0)	90.0 (94.7)	
合 計	工学部	103 (36)	42 (9)	8 (3)	53 (24)	13 (5)	19 (9)	3 (0)	10 (5)	6 (4)	2 (1)	93.0 (96.0)	△ 3.1 (△ 4.0)	96.1 (100.0)	96.2 (100.0)	
	工学部	282 (103)	77 (19)	0 (0)	20 (0)	40 (14)	54 (29)	12 (5)	29 (14)	20 (10)	4 (2)	94.6 (97.4)	△ 0.8 (1.6)	95.4 (95.8)	92.9 (95.8)	
	工学部	1,392 (569)	352 (65)	106 (34)	96 (43)	836 (427)	296 (167)	265 (123)	40 (20)	123 (57)	31 (21)	96.9 (97.7)	0.4 (0.8)	96.5 (96.9)	96.6 (97.0)	
	工学部	5 (3)		2 (0)	3 (3)	2 (2)	1 (0)		1 (0)	1 (1)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	71.4 (60.0)	
	工学部	6 (3)		2 (2)	4 (1)	2 (1)	1 (0)		1 (0)	1 (1)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
合 計	工学部	11 (6)	0 (0)	4 (2)	7 (4)	4 (3)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	85.7 (71.4)	
	工学部	44 (31)	4 (3)	10 (8)	30 (20)	23 (17)	5 (3)	1 (0)	1 (0)			90.9 (87.0)	— (—)	— (—)	— (—)	
	工学部	1 (0)		1 (1)	6 (1)	1 (0)	3 (1)					100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	52 (33)	4 (3)	0 (0)	37 (21)	27 (17)	8 (4)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	92.5 (87.5)	△ 7.5 (△ 12.5)	100.0 (100.0)	88.5 (84.6)	
	工学部	12 (6)	3 (3)		9 (3)	5 (1)	1 (1)		2 (0)	1 (1)		100.0 (100.0)	11.1 (0.0)	88.9 (100.0)	87.5 (100.0)	
合 計	工学部	9 (8)			9 (8)	7 (6)			2 (0)	2 (2)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	4 (2)		4 (2)	40 (6)	32 (4)	2 (1)		1 (0)	2 (0)	3 (1)	100.0 (100.0)	2.0 (0.0)	98.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	65 (22)	3 (3)	0 (0)	4 (2)	44 (11)	3 (2)	0 (0)	3 (0)	5 (3)	3 (1)	100.0 (100.0)	3.2 (0.0)	96.8 (100.0)	96.6 (100.0)	
	工学部	55 (0)			55 (0)	3 (0)	28 (0)	3 (0)	15 (0)	8 (0)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	50 (0)			50 (0)	8 (0)	28 (0)	2 (0)	12 (0)	3 (0)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
合 計	工学部	68 (8)		5 (0)	63 (8)	6 (1)	21 (2)	6 (0)	17 (4)	13 (1)	3 (1)	96.9 (100.0)	△ 3.1 (0.0)	100.0 (100.0)	91.3 (83.3)	
	工学部	22 (4)		1 (0)	21 (4)	2 (0)	3 (0)		6 (0)	7 (3)	3 (1)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	96.3 (90.0)	
	工学部	23 (1)	2 (0)		23 (1)	3 (1)	14 (0)	2 (0)	4 (0)	2 (0)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	94.7 (100.0)	
	工学部	25 (1)			23 (1)	3 (1)	12 (0)	2 (0)	4 (0)	2 (0)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	94.7 (100.0)	
	工学部	243 (14)	2 (0)	0 (0)	6 (0)	236 (14)	20 (2)	108 (2)	13 (0)	60 (5)	33 (4)	98.2 (100.0)	△ 0.8 (0.0)	100.0 (100.0)	96.3 (87.5)	
合 計	工学部	12 (3)		2 (1)	10 (2)	3 (0)	1 (0)		3 (0)	3 (2)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	8 (1)			8 (1)	4 (1)			4 (0)			100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	20 (4)	0 (0)	0 (0)	18 (3)	7 (1)	1 (0)	0 (0)	7 (0)	3 (2)	0 (0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	24 (12)	2 (2)	6 (4)	16 (6)	4 (2)	4 (2)	3 (1)	3 (1)	1 (0)	1 (0)	100.0 (100.0)	11.1 (12.5)	88.9 (87.5)	70.0 (40.0)	
	工学部	35 (5)	2 (0)	5 (2)	28 (3)	3 (0)	9 (3)	2 (0)	9 (0)	4 (0)	1 (0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	96.9 (100.0)	
合 計	工学部	32 (10)	2 (2)	3 (1)	27 (2)	5 (1)	5 (2)	5 (0)	5 (0)	7 (4)		93.1 (87.5)	△ 4.2 (△ 12.5)	97.3 (100.0)	93.3 (86.7)	
	工学部	91 (27)	6 (4)	0 (0)	14 (7)	21 (18)	12 (3)	18 (7)	10 (1)	17 (1)	2 (0)	97.3 (94.1)	1.0 (△ 1.7)	96.3 (95.8)	92.0 (78.3)	
	工学部	2 (0)		2 (0)	4 (1)	1 (0)	2 (1)			1 (0)		100.0 (100.0)	20.0 (—)	80.0 (—)	— (—)	
	工学部	6 (1)		2 (0)	4 (1)		2 (1)				2 (0)	100.0 (100.0)	0.0 (—)	100.0 (100.0)	— (—)	
	工学部	3 (0)	1 (0)		2 (0)	1 (0)	1 (0)					100.0 (100.0)	33.3 (—)	66.7 (100.0)	— (—)	
合 計	工学部	11 (1)	1 (0)	0 (0)	8 (1)	2 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	100.0 (100.0)	△ 1.1 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	9 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	88.9 (100.0)	△ 11.1 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	9 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	88.9 (100.0)	△ 11.1 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	6 (1)			6 (1)	3 (0)	2 (1)			1 (0)		100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	工学部	6 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (1)	3 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
合 計	工学部	508 (109)	16 (10)	0 (0)	44 (21)	448 (78)	120 (37)	145 (18)	25 (1)	81 (6)	11 (2)	98.2 (95.1)	△ 0.3 (△ 3.8)	98.5 (98.9)	96.4 (87.8)	

(注)博士課程・博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

特別支援教育特別専攻科

4 (3) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 4 (3) 3 (2) 1 (1) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 100.0 (100.0) 0.0 (0.0) 100.0 (100.0) 100.0 (100.0) (内訳は、女子学生数を内数で示す。)

【産業別就職状況】

平成26年5月1日現在

区 分	卒業生(人)	就職者(人)	就職者の内訳													その他					
			農業・林業・漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業 内、教員数		医療、福祉	複合サービス業	サービス業	公務	
人文学部	文学部	107 (85)	81 (68)	2 (2)	9 (8)	7 (6)	1 (1)	8 (7)	15 (12)	2 (2)	2 (2)	3 (2)	1 (1)	3 (2)	8 (7)	4 (3)	5 (5)	3 (2)	10 (8)	2 (1)	
	法学部	180 (84)	164 (76)	4 (3)	12 (9)	7 (4)	3 (2)	18 (8)	34 (19)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	4 (2)	9 (5)	1 (1)	8 (2)	3 (1)	44 (15)	1 (1)	
	経済学部	287 (189)	245 (144)	0 (0)	6 (5)	21 (17)	2 (0)	4 (3)	26 (15)	49 (31)	3 (3)	10 (6)	2 (1)	7 (4)	17 (12)	5 (4)	13 (7)	6 (2)	54 (23)	3 (2)	
	学校教育員養成課程	149 (81)	128 (73)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	103 (57)	101 (56)	3 (3)	1 (0)	10 (5)	1 (0)	1 (0)	
	情報教育課程	20 (8)	16 (8)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	13 (5)	7 (4)	3 (3)	1 (1)	4 (2)	3 (1)	3 (1)	
	生涯教育課程	16 (8)	16 (8)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	6 (3)	6 (3)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	3 (1)	3 (1)	
	人間発達科学課程	37 (30)	22 (15)	0 (0)	1 (1)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	9 (5)	7 (4)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	計	222 (127)	182 (104)	0 (0)	1 (1)	5 (4)	0 (0)	4 (4)	1 (1)	5 (5)	2 (2)	1 (1)	4 (2)	1 (1)	131 (68)	127 (66)	6 (6)	1 (1)	17 (8)	1 (0)	
	医学部	109 (34)	82 (77)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	71 (66)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	
	計	203 (121)	82 (77)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	71 (66)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	
工学部	機械工学科	89 (5)	33 (3)	0 (0)	29 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	電気電子工学科	33 (1)	33 (1)	5 (0)	18 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	4 (2)	4 (2)	
	システム工学科	95 (17)	31 (6)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	4 (2)	4 (2)	
	分子素材工学科	47 (13)	24 (6)	12 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	
	物理工学科	39 (4)	12 (3)	5 (1)	5 (1)	19 (4)	1 (0)	1 (0)	5 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (1)	3 (2)	4 (1)	4 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
	計	170 (28)	118 (1)	76 (5)	2 (0)	26 (5)	0 (0)	9 (3)	0 (0)	4 (2)	14 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	13 (4)	0 (0)	
	資源環境学科	16 (3)	16 (3)	9 (4)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (0)	4 (3)	2 (2)	4 (1)	2 (1)	4 (1)	2 (1)	1 (1)	9 (4)	0 (0)	0 (0)	
	共生環境学科	93 (26)	53 (24)	17 (6)	1 (0)	7 (5)	3 (1)	8 (2)	1 (1)	1 (0)	7 (4)	4 (2)	1 (1)	3 (1)	3 (1)	2 (1)	1 (1)	5 (2)	3 (2)	6 (2)	
	生物圏生命科学部	103 (36)	53 (24)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	7 (4)	7 (5)	3 (3)	8 (3)	4 (2)	2 (2)	15 (6)	6 (3)	36 (12)	
	計	282 (103)	159 (74)	31 (16)	2 (1)	9 (6)	3 (1)	16 (7)	4 (3)	1 (0)	7 (4)	7 (5)	3 (3)	8 (3)	4 (2)	2 (2)	15 (6)	6 (3)	36 (12)	0 (0)	
合計	1,392 (569)	838 (427)	3 (2)	32 (8)	135 (42)	6 (1)	53 (25)	8 (5)	56 (30)	9 (6)	35 (17)	10 (7)	11 (7)	159 (86)	137 (75)	92 (81)	22 (9)	18 (7)	130 (57)	4 (2)	
人文社会科学部	地域文化協専攻	5 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	
	社会科学専攻	6 (3)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	
	計	11 (6)	7 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	0 (0)	
	教育学専攻	44 (31)	30 (20)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	26 (18)	25 (18)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	
	学校教育専攻	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	
	計	52 (33)	37 (21)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (19)	30 (19)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	
	医科学専攻	12 (6)	9 (3)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (4)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	看護学専攻	9 (8)	9 (8)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (2)	7 (2)	31 (4)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	生物医科学専攻(博士課程)	44 (8)	40 (6)	1 (0)	47 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (6)	12 (6)	40 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	計	65 (22)	58 (17)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
工学部	機械工学科	55 (0)	55 (0)	1 (0)	47 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	電気電子工学科	50 (0)	50 (0)	2 (0)	32 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	分子素材工学科	68 (8)	63 (8)	1 (0)	56 (6)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (1)	3 (1)	
	建築学専攻	22 (4)	21 (4)	11 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	物理工学科	23 (1)	23 (1)	11 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	計	243 (14)	235 (14)	14 (2)	164 (7)	4 (0)	15 (1)	6 (0)	2 (1)	0 (0)	24 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	
	材料科学専攻	12 (3)	10 (2)	7 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	
	シスエム工学専攻	8 (1)	8 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
	計(博士課程)	20 (4)	18 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	資源環境学専攻	24 (12)	16 (6)	1 (0)	1 (0)	7 (2)	1 (0)	3 (1)	3 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
生物資源学部	生命科学専攻	35 (5)	28 (3)	1 (0)	2 (0)	17 (2)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
	生物圏生命科学専攻	91 (27)	71 (16)	4 (0)	4 (1)	36 (6)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	5 (1)	0 (0)	1 (1)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (2)	5 (3)	
	資源環境学専攻	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	共生環境学専攻	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	生物圏生命科学専攻	3 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	計	11 (1)	8 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	
	地域イノベーション学専攻(博士課程)	9 (1)	8 (1)	1 (0)	5 (0)	5 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	地域イノベーション学専攻(博士課程)	9 (1)	8 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	計	6 (1)	6 (1)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	計	6 (1)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	508 (109)	448 (78)	4 (0)	20 (3)	221 (17)	5 (0)	21 (1)	7 (0)	11 (2)	0 (0)	1 (1)	35 (3)	0 (0)	61 (28)	47 (27)	42 (11)	2 (0)	11 (3)	15 (8)	2 (1)	
(注)博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得後期退学者を含む。																					
特別支援課程特別専攻科			4 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
			()内は、女子学生数(内訳を示す)																		

(注) 博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

特別支援教育特別専攻科 4 (3) 4 (3) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 4 (3) 4 (3) 0 (0) 0 (0) 0 (0) 0 (0)

()内は、女子学生数内数で示す。

VI SA (スチューデント・アシスタント)

スチューデント・アシスタント (SA) の取り組みから学ぶ -他者を支援すること、自身が支えられるということ-

学生総合支援センター 講師 川島 一晃

例年、本報告において書いていることであるが、本報告の根底にある営みは「先輩が後輩の面倒をみる」「困っている仲間を少し気にかける」といった極めて自然な相互支援としてもとは展開してきたものである。しかし今日、学生支援の充実を目指す全国の大学において、ピアサポート(peer support)という名称のもと展開するこの営みは年々増加している。元来あった学生相互の関係性やつながりは、今日の大学においては改めて確認し、場合によっては構築する支援が必要とされていると認識せざるを得ない。現在の学生たちは各々が孤立する傾向にあり、相互のつながりが希薄化する中、大学生活における不適応の増加や悩みを独りで抱えざるを得ないケースなどが増加していることと比例している。筆者もキャンパスや教室、相談室で出会う学生の傍らに、そっと微笑む仲間の姿があれば、どれだけ眼前の学生の日常が輝くことであろうかと思うこともしばしばである。多くの実践が多少なりとも学生たちの日常に寄与することを祈りたい。

全国的に展開するピアサポート活動の多くは、「学生が同じ学生の立場で悩みを一緒に考える」といった万相談所として展開している事例が多く散見される。本学では、仲間が仲間を支援するというこの相互支援の取り組みの本質は、“大学という一つの社会の中で様々な体験することは自身のキャリア(生き方)に寄与する”という観点から「キャリア・ピアサポーター」と呼称し、学生個々人の切り口(その人らしいやり方)によって、仲間を支援することを推進している。そしてその際には、支援に関連する様々な知識・技能・構えを多様な講義群から選択し、一定の力量を保証するために資格教育プログラム(本報告書巻末参照)を設置し、初級資格、上級資格を設けている。このキャリア・ピアサポーター資格教育プログラムは、全国のピアサポート活動を展開する大学から極めて画期的であると評価を受け、現在注目されているピアサポートの仕組みでもある。

さて、このキャリア・ピアサポーター上級資格を取得した学生を活用する学生支援施策がSA(Student Assistant)の取り組みである。学生は上級資格を取得するまでに、学習支援(ファシリテーション)に関する実践的な講義(学習支援実践)や心理的支援に関する知識を学ぶ講義(こころのサポート)が必修であるため、一定の配慮やアプローチについてトレーニングを受けた段階で、教員とともに学びの支援者として講義に参加する。授業準備や配布物の配布補助ではなく、受講生のグループディスカッションへの参加を促進するファシリテーションや、学びの中身の充実をいかに支援するかという観点から、「教員でないSAだからこそできる学習支援」を目指している点に本学のキャリア教育、学生支援のオリジナリティがある。

本報告は、キャリア・ピアサポーター上級資格取得に至る学びを体験し、SAとして実際に授業の場で教員・受講生と関わったSA経験者の学生に、率直な体験を体験記という形で記載するよう求めたものである。以下Table1に2013年度のSA採用者およびSA活用講義一覧、Table2に学生への振り返りの質問項目、Table3にSA体験による学びのアンケート項目(4つの力の下位要素¹⁾)を示す。

●Table1 2013年度SA採用数およびSA活用講義一覧

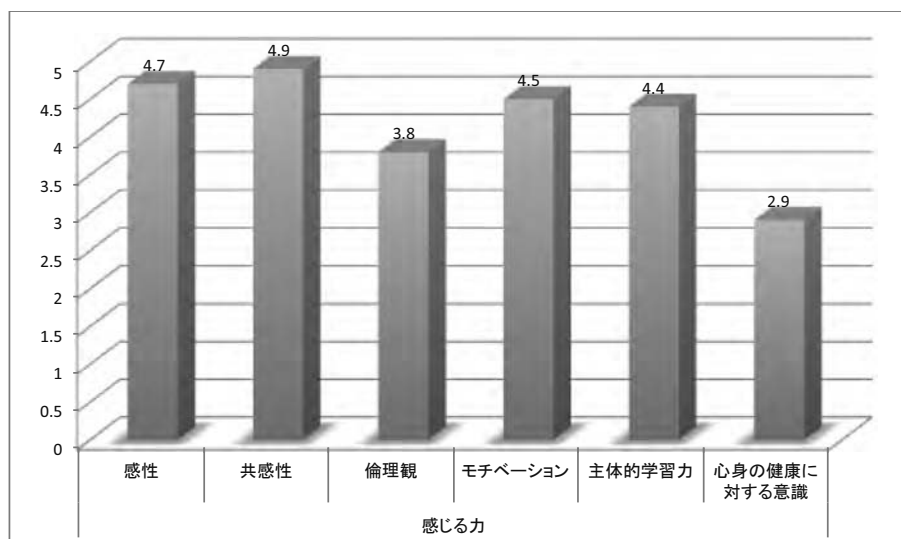
	授業名	学部	学年	人数
前期	キャリアプランニング	人文	3年	2名
	学習支援実践I(4sus)	人文	3年	1名
	学習支援実践Ⅲ(日本語)	人文	3年	2名
	ピアサポート実践	人文	3年	2名
	AI-人と組織を生かす発想法-	人文	3年・2年	2名
後期	学生生活支援実践	人文	4年・3年	2名
	広報誌編集実践	人文	3年	1名
	留学生支援実践	人文	3年	2名
	男女共同参画実践	人文	4年・3年	2名
	三重大ブランドづくり実践	人文 工学	3年 2年	2名
	ピアサポート実践	人文	4年・3年	2名
	キャリアプランニング	人文	3年	2名
	AI-人と組織を生かす発想法-	人文 工学	3年 2年	2名
	PBLセミナー	人文	3年	1名

I 4つの力の下位要素18項目に対し、「成長しなかった」から「成長した」までの5件法にて回答を求めた。未回答者1名を除く10名の回答からグラフを作成した。

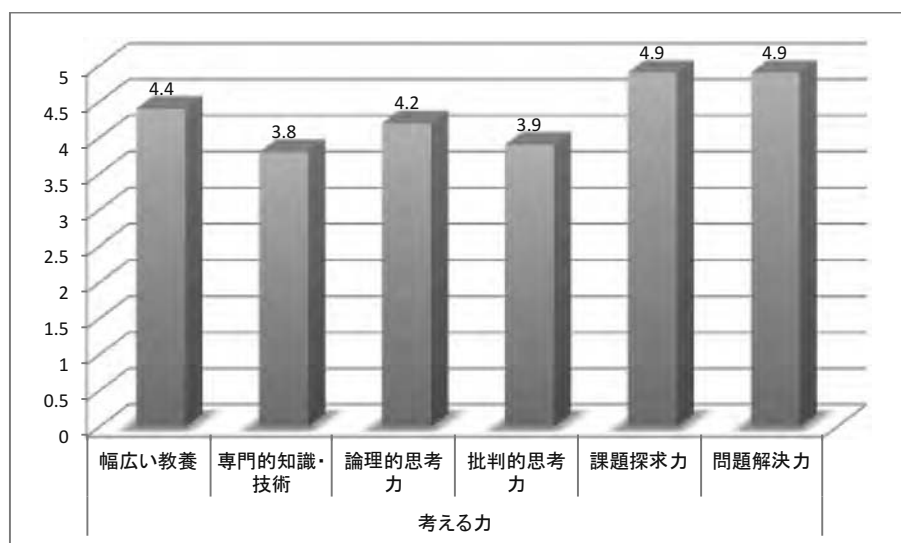
●Table2 SA体験記 振り返り質問項目

- 質問1 SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)
- 質問2 SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通して自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)
- 質問3 SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?
- 質問4 SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)
- 質問5 SAとして活動してみて、SAの仕事内容について感じたこと、今後のSA活用にむけて提案することなど自由な意見を教えてください。

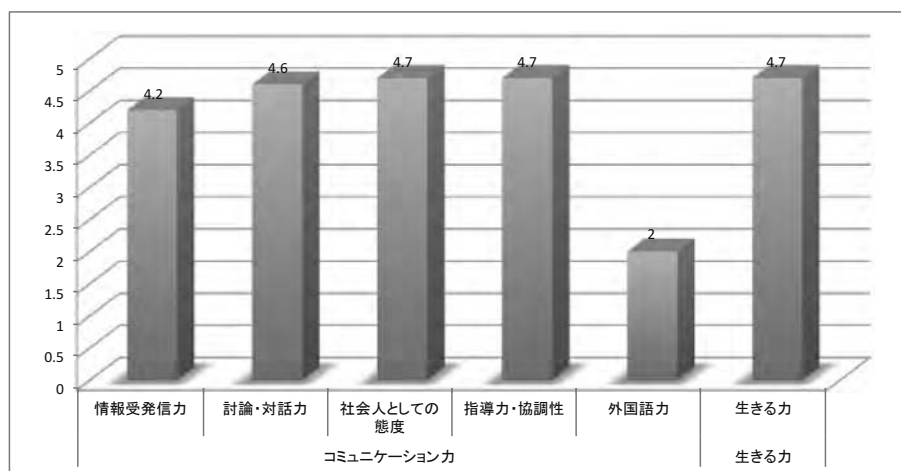
●Table3-1 SA体験記 SA体験による学びのアンケート項目(4つの力『感じる力』)



●Table3-2 SA体験記 SA体験による学びのアンケート項目(4つの力『考える力』)



●Table3-3 SA体験記 SA体験による学びのアンケート項目(4つの力『コミュニケーション力』・『生きる力』)



これまで筆者は“他者を支援するということは、いつも他者に支援されることと表裏一体である”ということを臨床や教育の場で感じまた教わってきた。少なからずSAを体験した学生たちは、自身が支援に心を傾けた受講生と関わった自分自身の中に成長を見出し、その貴重な内的体験を言葉に紡いでくれたことで、今年度のSAの活用は概ね良好な実践であったと言ってよいであろう。それは彼らの体験の記述の中に、本学の教育目標である4つの力が反映され、着実に彼らの中でその芽を育み、他者との関わりの中で実践的に成長を遂げていると考えられるからである。彼らの生の声が来年度以降のSAの展開に寄与することを祈りたい。

●SA体験報告書(2013年度)

氏名：K.M. 学年：3年

担当授業名：留学生支援実践

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

- ・受講生のグループ活動へのアドバイス
- ・授業の準備、進行の補助

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

あるグループで、中心的な2人だけが話し合い、他の班員は傍からみれば退屈そうに、あるいはボーっと聞いている場面がありました。中心の2人も話し合いに行き詰まり、困っていたのですが、そこで先生がずっと入り、擬似マイクを手渡して全員が言いたいことを一言ずつ言っていく環境を作り出しました。おかげで他の班員は言いたかったことが言え、中心になっていた2人も他の班員の別視点の発言に影響を受けて、話し合いがぐっと深まっていきました。グループ活動の醍醐味は、全員が自分の持ち味を生かして貢献しあうことです。難しいことですが、だからこそ達成できたときの喜びは大きいです。先生の姿を見て、SAとはグループで活動することの達成感を味合わせてあげる手助けの存在であり、一人一人が自分の持ち味をいかす気持ち良さを体感してもらうところに大きな意味があるのだと学びました。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

グループで活動という点で言えば、グループにまずどんなメンバーがいるのか確認するようになりました。自分が中心になり話を展開して行く人、場を盛り上げるのが得意な人、静かに話を聞いているけれどいざとなると鋭いツッコミを入れる人。そういった人たちの個性が話し合いの中で活かされるよう動く力というのは、SAとしてグループを客観的にみる機会があったからこそ養われたと思います。

また留学生支援の点では、受講生のフットワークに軽さに驚かされました。今回は留学生へのインタビューや学内ツアーなど留学生と直接交流する企画が多く、打ち合わせも大変だったと思います。でもみな積極的に交流し留学生との情報交換を行っており、見習わなくてはならないなと感じました。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか?

私はつい先日まで就職活動をしています、感じるのは社会において自分1人だけで働くことはまずないと言うことです。かならず会社には上司部下といった縦の繋がりが、お客様といった横の繋がりが、様々な人と関わり合いながら仕事をするようになります。

留学生支援実践では、SAとして同年代だけでなく後輩や先生といった目上の方との交流がありました。また日本人だけでなく留学生とももちろん交流します。その中で知らない文化に触れに行く度胸は間違いなく養われましたし、楽しむ気持ちの余裕も芽生えました。今までは遠く縁のない存在だった人たちを身近に感じられるようになったことが、一番の収穫だったと思います。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

まずはあなた自身が活動を楽しんでください。SAとしてアドバイスしなければとか、先輩として振舞おうと固くならなくて大丈夫です。

私はグループ活動をしている班にそっと近寄って話を聞き、うなずいたり相槌を打ったりしながら会話に混じりました(ちょっと不自然だったかもしれませんが)。SAはいわば生徒と先生のための潤滑油です。受講生の中に溶け込み話を聞くことで、先生にはなかなか言いづらいちょっとした悩みや質問なんかもポロっとこぼしてもらえると思います。

私はSAをするにあたって、受講生のいいところを見つけようと心がけました。ぜひ上手にいったところはもちろん、「失敗したけどこんな発見があった!」といった反省し学んだ部分も多いに褒めてあげてください。そして受講生ががんばったことは、しっかり具体的に評価してあげてください。次の自信に繋がります。実際私が授業を受講しているときに先輩から褒められたときは、自分の気づいていなかった長所を見つけることができ大いにやる気に繋がりました。受講生が自分の力を最大限活かし、自らの意志で参加し活躍しているのだというやる気を持たせられたら最高です。

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

今回の留学生支援におけるSAの主なお仕事は学生のサポートで、先生のサポートがなかなかできなかったなと反省しました。ぜひ授業で使う資料の作成や、Moodleの操作等細かいところも任せてください。それからSAとして、良かった点、もっと改善したらよくなる点等をアドバイスしてくださると、今後の活動に生かせるので嬉しいです。

●SA体験報告書(2013年度)

氏名：A.M. 学年：4年

担当授業名：キャリアプランニング(前期)、学生生活支援実践(後期)

SAとしての活動の役割(箇条書きで)

キャリアプランニング

- ・声掛け ・活動への参加(ペアをつくる際に学生が奇数のとき)
- ・プリント配布 ・出席確認 ・課題提出確認

学生生活支援実践

- ・教室を回り、グループ活動の進行状況を把握する ・適宜アドバイスをを行う
- ・教室の鍵を事務室に借りに行く

質問1：SAを体験しての学び(SAの取り組みの中で何を学び、何を発見しましたか?)

キャリアプランニング

授業に参加して実感したのは、学生が活動しやすい環境をつくるのがSAの大きな役割だということです。授業内で行ったアンケートで「まったく知らない人同士で不安だったが議論をやすくしてくれた、話を広げてくれた」「進め方がわからないとき全員のの前では聞きづらいので、SAさんにこっそり教えてほしい」という意見もあり、こちらが考えている以上に学生がサポートを求めているという印象を受けました。

学生生活支援実践

活動の主体はあくまで受講生であることを考えると、SAとしてどこまで介入してアドバイスをすべきなのか…と悩むことがあるのですが、この授業の学生はこちらのアドバイスを吸収してさらに良いものに変えてくれることが多かったのです。例えば「学生支援としてこの視点は大事にしてほしい」と伝えたものを発展させて発表してくれたグループもありました。アドバイスを丸ごと受け入れるのではなく、自分たちでより良い形に利用してくれたのがとても良いなと思いました。

質問2：SAを体験して「変化」したこと(SAの体験を通してご自分の中で生じた変化についてできるだけ具体的に教えてください)

キャリアプランニング

初めの頃は「SAとして何かしなければ」という気持ちが強く、そのような気持ちで授業に参加していたのですが、なかなかできることが少なく落ち込むこともありました。しかし、授業の担当の先生に「まずは自分が楽しめばいいんだよ」とアドバイスをいただき、肩の力を抜くことができました。それから無理に何かしようとせず、学生が困っているときや助けを求められたときに全力で応えればよいと思えるようになり、慣れることができました。

学生生活支援実践

SAを務めるのが2回目ということ、もう一人頼りになる先輩がいたことが大きく、前期に比べてSAとしての働きに焦ったり悩んだりすることがなくなりました。逆に、学生たちの活動に関して一緒になって悩み考えたことのほうが多かったです。仲の良い友達同士が集まったグループでは関係ない話で盛り上がって作業が進まないこともあったので、各グループの活動の進み具合を聞いて積極的に把握し、活動が停滞しないように声をかけていました。そうしているうちに学生への関わり方も少しずつわかるようになりました。

質問3：SAの体験はあなたの今後(キャリア・仕事・学生生活・将来のイメージ)にどのように影響しそうですか？

将来は大学職員を志望しているので、個人的にはとても貴重な経験をさせてもらっていると思います。学生と教員をつなぐ役割には責任も感じますが、それ以上にやりがいがありますし、この経験を通して自分の強みを探しているのではないかなと考えています。学生でありながら受講生とは違う立場から授業に関わることで、新たな視点から「大学」「授業」「学生」などについて考える良い機会にもなっています。

質問4：SAをこれからする後輩へのエール(SAとして工夫した点、心がけるべき点など後輩へのメッセージをお願いします)

あまり気負わなくても大丈夫です。特殊な立場なので戸惑うこともあるかと思いますが(実際に私がそうでした)、まずは学生や先生との関わりを楽しみつつ自分にできることを探してみてください。慣れてくると周りが見られるようになるのですが、初めはやはり難しいと思うので、困ったときは先生や同じくSAを経験している人に相談するのが一番です。授業を通して後輩の成長を感じられ、その中で自分も成長することができる本当に素敵な役割なので、ぜひ積極的に参加してほしいです。

質問5：SAとして活動してみて、SAの仕事内容(これは大変だな、もう少しこんなことをしてみたいな etc)について感じたこと、今後のSA活用に向けて提案することなど自由な意見を教えてください。

私の場合だと、毎回の授業で行うワークの内容(進め方・やり方)を学生から質問されることが多かったので、自分も先生の説明をしっかりと聞いて理解している必要があると感じました。このような場合は事前に打ち合わせ等できると良いかもしれません。質問されたのに自分もわからなかったときは焦りました…。

／ たくさんの人と
知りあいたい ！



キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド
2013

NEXT STEP

あなたも
キャリア・ピアサポーターに
なってみませんか？

CAREER・PEER SUPPORTER

／ キャリアアップで
自信がつくよ！ ！



／ 能動的な
行動力が
身につくよ！ ！



／ 大学内で
職場体験が
できるんだって！ ！



 **MIE**
UNIVERSITY

学生総合支援センター

資格をとって、 大学づくりに関わろう！ ～仲間と一緒に大学を変える！自分も変わる！～

こんな人は
注目です！

就職活動が不安。
今から始められることって
ないかなあ。

短い大学生活。
もっとキャンパスライフを
楽しみたい！！

資格は興味あるけど
自力で取得するのは
大変そう……

コミュニケーション
能力を伸ばしたいけど
人と接する機会が
あまりないなあ……

例えば
こんな業務
やってます

資格を取得することで参加できる！ 学内業務の一例

活躍の場が
広がるね！



※業務に参加するに当たって必要な資格要件は、その業務ごとに設定されています。詳しくは、各業務担当者に直接お問合せください。
※業務内容によっては、大学から謝金が支払われるものもあります。

授業補助

キャリア・ピアサポーターがSA (Student Assistant) として『「4つの力」スタートアップセミナー (4SUS)』、『キャリア実践科目』、『学習支援実践』、『PBLセミナー』等のセミナー・実践形式の授業において、教員の指導のもと、受講している学生の補助をすることができます。授業中は教室内を巡回して、教員の指示を理解しきれていない学生をサポートします。

※『学習支援実践』という授業が週に一回あり、キャリア・ピアサポーター同士でSAをしたときの反省点や改善点を話し合います。

各種学生サポート

大学生活についての相談窓口を開設するなどの各種学生支援企画を実施したり、他団体等の学生支援企画の運営をお手伝いしたりします。

※相談窓口開設に当たっては、事前にカウンセラーより相談に関する研修を受けることができます。



他にもこんな業務に関われるチャンスがあります！

- 学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベントの開催
- 修学支援企画の立案・実施
- 学内の各種学生団体とのコラボレーション

その他、学内さまざまなところで力を発揮できます！ 学生の声を聞いて、今何をする必要があるのか、メンバーみんな考えていきましょう！



資格を取得
してからの
自分の変化

- ★自ら行動する力がつく！
- ★学部・学年を越える仲間と出会い、高めあえる。
- ★より充実した大学生活に！！

申請ってどうするの？

資格認定までの ステップ

申請はとっても簡単！
気軽にチャレンジ
してみよう！



STEP 1

キャリア・ピアサポーター資格申請書および 成績証明書を提出

定められた時期までに、キャリア支援センター(就職支援チーム)に提出します。

申請期日	前期末申請	申請書締切	平成25年8月2日(金)
		成績証明書締切	平成25年9月13日(金)
	後期末申請	申請書締切	平成26年1月31日(金)
		成績証明書締切	平成26年4月3日(木)

対象科目は？

資格取得に関わる科目群

実践につながる
科目がいっぱい！



初級資格

授業科目名	単位
初級必修科目	
①「4つの力」スタートアップセミナー	2
②キャリアプランニング	2

※キャリア実践科目から1科目を選択のこと

上級資格

授業科目名	単位
上級必修科目	
①学習支援科目(学習支援実践Ⅱ～Ⅲ)	2
②心的援助科目 (「こころのサポート」あるいは 「AI-人と組織を生かす発想法-I」)	2

※下記「選択科目」から2科目を選択のこと

選択科目

キャリア実践科目	単位	キャリア実践科目	単位	キャリア実践科目	単位
学生生活支援実践	2	環境ISO実践	2	法則探険実践	2
ピアサポート実践	2	障がい学生支援実践	2	留学生支援実践	2
広報誌編集実践	2	美し国おこし三重実践	2	社会連携実践(I～Ⅲ)	2
大学紹介実践	2	男女共同参画実践(啓発イベント実践)	2	ボランティア実践	2
地域づくり実践	2	三重大ブランドづくり実践	2	PBLセミナー:キャリアイベント実践	4
その他選択科目	単位	その他選択科目	単位	その他選択科目	単位
アントレプレナー論	2	仕事・社会を知る	2	キャリアインターンシップⅠ	2
三重ブランドの創出	2	法則探険入門	2	キャリアインターンシップⅡ	2
キャリア形成・能力開発	2	現代の消費生活と消費者の自立	2	就職とキャリア形成	2

※内容と開講時間等は、当該年度の履修案内・シラバスで詳細を確認してください。

STEP 2

キャリア・ピアサポーター 資格認定委員会による 審査

学生総合支援担当副学長、キャリア支援センター長、キャリア教育担当教員等から成る認定委員会が審査します。

STEP 3

基準を満たす学生に 対して、初級資格、または 上級資格認定証を授与

資格認定者の発表は、前期末申請分については9月下旬、後期末申請分については次年度4月上旬を予定しています。

資格認定基準

- 資格認定要件となる授業において単位を取得していること。
- キャリア・ピアサポート活動に従事するに当たり、十分な意欲と素養を備えていること。

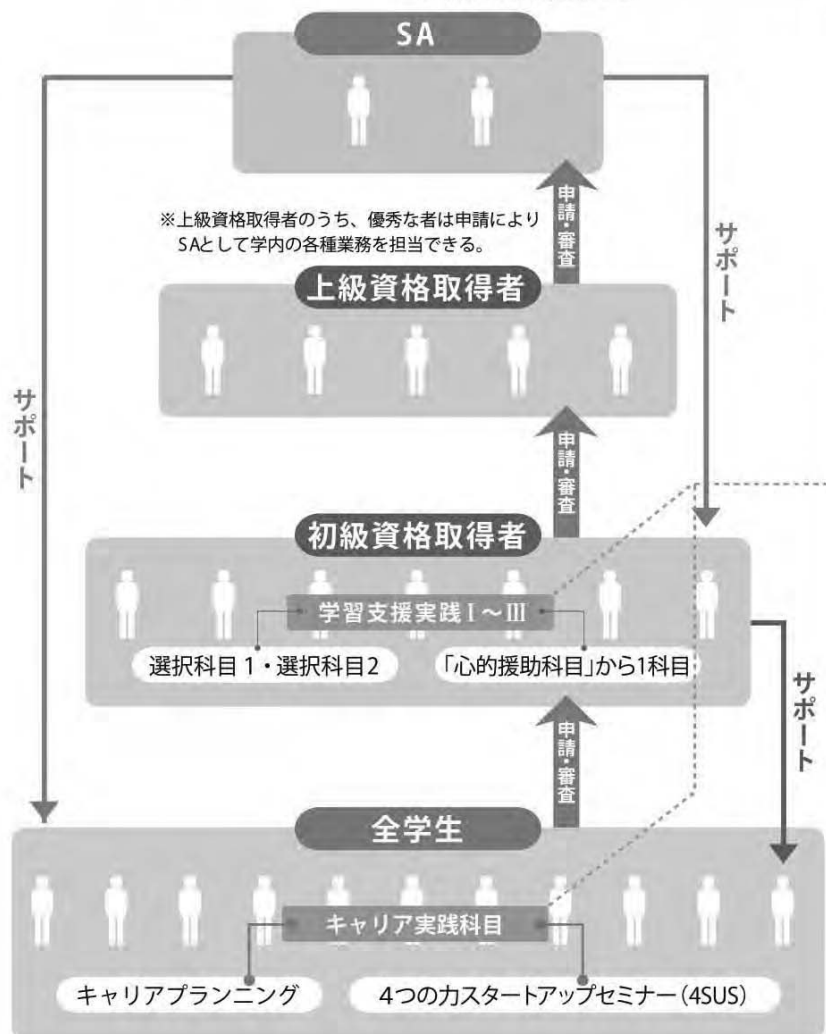
ステップ アップの 仕組みって？

キャリア・ピアサポーター 資格教育プログラム

キャリアUPで
自信をつけよう！



● SA (Student Assistant) … 教員の要請により授業補助等の業務を担う学部学生のこと



キャリア実践の各科目や「学習支援実践」を受講した学生が、資格取得により次年度にはSAとして、受講生のサポートに入ることができます。

キャリア実践科目



例) 学習支援実践I



資格取得を通して社会人としての「実践力」を身につけよう!



大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、

知識量だけでなく、獲得した知識に基づいた実践のための応用力が求められるようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、

学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。

また、所定の科目を履修した学生に対しては、「キャリア・ピアサポーター初級資格」、

および「キャリア・ピアサポーター上級資格」を認定します。

「キャリア・ピアサポーター」資格を取得した学生は、授業補助等で教員のサポート役を担う

「SA(Student Assistant)」をはじめ、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、

各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画など、三重大学の活性化にも

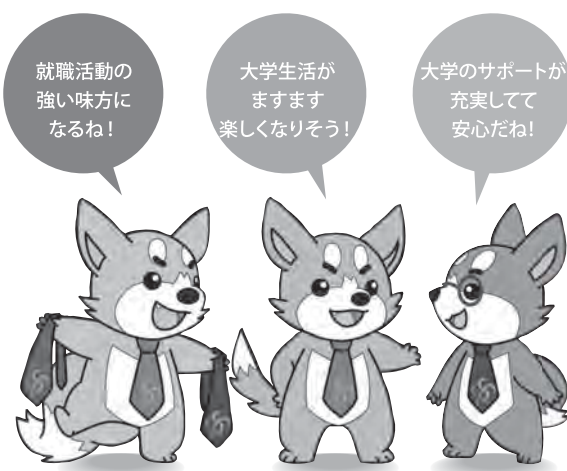
つながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な

現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な“対人関係能力”や“コミュニケーション能力”といった

能力を身につけていくこともできるでしょう。

あなたも、「キャリア・ピアサポーター」資格を取得して、一緒に三重大学を盛り上げていきませんか。

そして、あなた自身の「実践力」を伸ばしていきませんか。





三重大学学生総合支援センターホームページ
<http://www.mie-u.ac.jp/life/>

発行／平成25年8月
国立大学法人 三重大学
問い合わせ先／学生総合支援センター
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-9679

三重大学life

click

